



KM-5410w

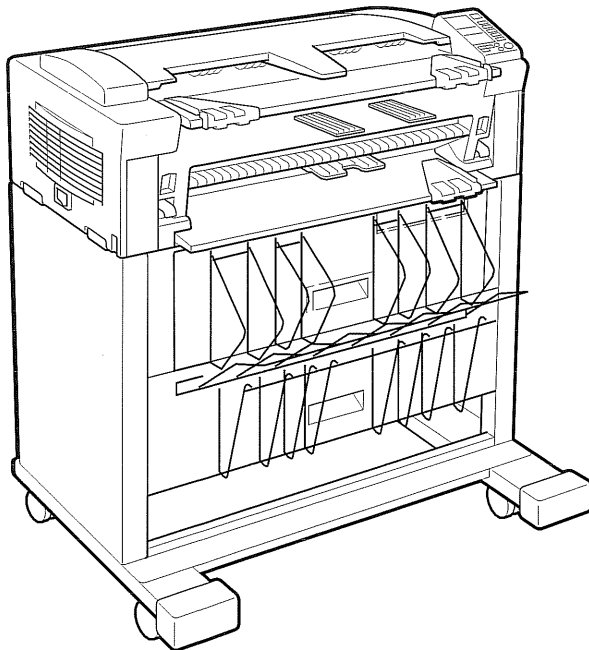
KM-5420w

静電複写機

## 使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読み  
ください。

お読みになった後は、機械の近くに大切に  
保管してください。






京セラ ミタ株式会社

## いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、複写機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、機械の近くに大切に保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

-  **危険**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」、



「感電注意」、



「高温注意」

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」、



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」、



「電源プラグをコンセントから抜け」、



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

## 〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

# 1. ⚠️ 注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙詰まり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

**ラベル1**  
この部分の内側には高電圧が発生しています。感電事故を防ぐため、絶対に触れないようにしてください。..... ⚡

**ラベル2**  
この部分は高温になっています。火傷などの恐れがありますので、触れないようにしてください。..... ☹️

Ⓜ️ **お願い** これらのラベルは、はがさないようにしてください。

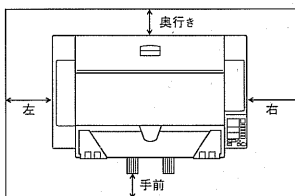
# 2. ⚠️ 機械を設置するときのご注意

## ■ 設置環境について

### ⚠️ 注意

- 本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。..... Ⓝ
- 本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。..... Ⓝ
- 本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。..... Ⓝ

- 本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械の左右後には通気口があり、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。



	標準の時	厚紙、ブックキャリア
手前	100cm	100cm
奥行き	60cm	120cm
左	60cm	60cm
右	60cm	60cm




- 本製品を設置したらキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

#### その他の注意事項

- 本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温20℃、湿度65%RHが適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。
  - ・窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
  - ・振動の多い場所
  - ・急激に温度や湿度が変化する場所
  - ・冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
  - ・通気性、換気性の悪い場所

### ■設置電源・アースについて

#### ▲ 警告


- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。..... 
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。..... 
- 必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。..... 

#### その他の注意事項

- 電源プラグは、本製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。
- 延長コードが必要なときは、規格がAC300V、30A以上、長さが5m以下のコードを使用してください。

### ■ビニールの取り扱いについて



#### ▲ 警告



- 本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。..... 

## 3. 取り扱い上のご注意

### ■機械の取り扱いについて

#### ▲ 警告

- 本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。..... 
- 本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。..... 

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。..... 
- 本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電のおそれがあります。..... 

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない  
しないでください。感電のおそれがあります。.....



●万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。.....



●万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。.....



●内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。.....



### ▲ 注意

●プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください）.....



●本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。.....



●夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。.....



●ステイプラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。.....



●本製品の清掃を行うときには安全上、必ずメインスイッチを切ってください。.....



### その他の注意事項

●本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

●コピー中には次のことをしないでください。

- ・本体を開ける。
- ・メインスイッチを切る。
- ・電源コードを抜く。

●本製品の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をするをお勧めいたします。

●転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。

●コネクタ、プリント板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

●この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

### ■消耗品の取り扱いについて

#### ▲ 注意

●幼児、子供の手に触れないようにしてください。.....



●トナーが手に付着した場合は、せっけん水で洗ってください。もし目に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。万一子供などが食べた場合は、水を飲んで胃の中を薄め、医師の判断を受けてください。.....



●トナーやトナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナーを直接焼却炉などの火中に投入すると火花が飛び散るおそれがあります。.....



## その他の注意事項

- 消耗品をご使用になる前には、必ず消耗品の箱や容器の注意文をよくお読みください。
- トナーやトナーの入った容器の廃棄については国や地方自治体の規制に従ってください。
- 消耗品は冷暗所に保管してください。
- 本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

# 4. コピー禁止事項

複写機を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

## 1. 法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。  
例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

### (関係法律)

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

## 2. 注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

## 3. 著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。

# エネルギースタープログラム



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。

このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムへの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。

本製品は、同プログラムに掲げるオートオフモードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

## ● オートオフモード

一定時間（標準設定時間：30分）操作しない状態が続いたとき、オートオフ機能により自動的に電源が切れるように設定されています。この状態から操作するときは、電源スイッチをOnにしてください。

・標準設定時間の変更のしかたは、59 ページ（「オートシャットオフ時間」）参照

## 仕様

		本体のみ
オートオフモード	消費電力	5W以下
	移行時間	30分

# この本の読みかた

## マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

**⚠警告**…この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

**⚠注意**…この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

以上は、安全上のご注意についての説明です。

**⚡重要**…誤って操作すると、紙づまり、原稿破損の原因になることがあります。必ず、お読みください。

**📖** 操作の前に…操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

**🔧** 補足…操作するとき気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

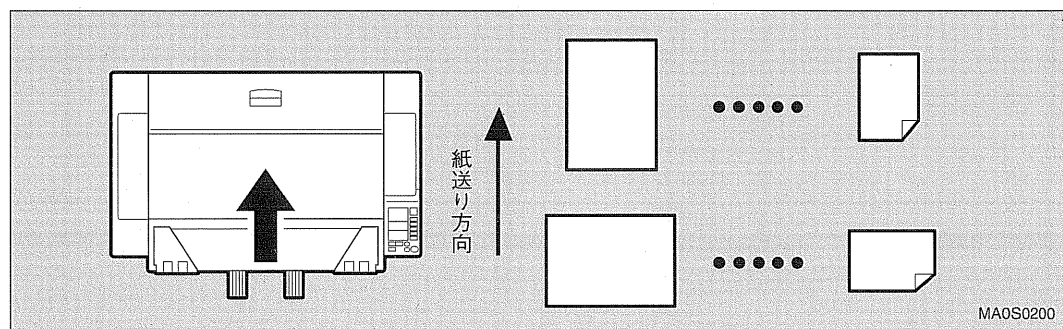
**🚫** 制限…数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

**🔍** 参照…参照先を示します。

**【    】**…操作部のキーやランプの名称を示します。

**➡**…操作が次のページに続くことを示します。

**📄**…用紙をセットする方向を示します。



## おもなオプションの略称

本書中では次の略称で説明しています。

- ・京セラミタキャリアシート A1, A2 ⇒ キャリアシート
- ・京セラミタブックキャリア タイプ A ⇒ ブックキャリア
- ・京セラミタロールユニット RU-32A/32B ⇒ ロールフィーダー



# 目次

⚠ 注意ラベルについて	1
⚠ 機械を設置するときのご注意	1
⚠ 取り扱い上のご注意	1
コピー禁止事項	4
エネルギースタープログラム	5
この本の読みかた	6
目次	7
こんなことができます	9
各部の名称とはたらき	11
おもなオプションの名称とはたらき	12

## 1 コピーを始める前に

原稿について	15
セットできる原稿のサイズと紙厚	15
・ キャリアシートを使用する	
原稿	16
・ 使用できない原稿	16
・ 原稿サイズと読み取り範囲	17
用紙について	18
・ セットできる用紙サイズ、種類	18
・ 用紙のストック	19
・ 普通紙にコピーするとき	19
・ 縁取り紙にコピーするとき	19
・ フィルムにコピーするとき	19
・ トレーシングペーパー（第二原図用紙）にコピーするとき	19
・ ロール紙について	19
・ 使用できない用紙	20
・ 用紙の保管	20
・ 用紙の取り扱い	21
・ 除湿ヒーターについて	21
・ 用紙の補給・用紙の交換	21
トナーについて	22
・ トナーの取り扱いについて	22
・ トナーの保管	22
・ トナー補給のしかた	22

## 2 基本的なコピー

基本的なコピーのとりかた	23
KM-5410w でコピーするとき	23
KM-5420w でコピーするとき	25
用紙カット長さ	28
・ シンクロカット	28
・ 定寸カット	28
原稿のセット	29
キャリアシートのセット	30
基本機能	31
コピー濃度調整	31
・ 自動濃度	31
・ うすく／こく	31
定着温度調整	32
先端余白／後端余白	33
その他の機能	35
・ 予熱	35
ブックキャリア	36
ブックキャリアの取り付け	36
原稿のセット	37
コピーのしかた	39
ブックキャリアの取り外し	40

1

2

3

4

5

6

### 3 こんなときには

---

コピーが始められないとき	41
コピーがきれいにとれないとき	42
思いどおりにコピーされないとき	44
☒ 用紙がなくなったとき	46
☒ トナーがなくなったとき	49
☒ 用紙や原稿がつまったとき	51
キーカード/キーカウンターのセット	54

### 4 初期設定

---

初期設定値の変更	55
機能一覧図	57
初期設定機能の一覧	58
・ 1. 等倍調整	58
・ 2. カット長調整	58
・ 3. 原稿スタートキー有効	58
・ 4. オートクリア時間	58
・ 5. 自動予熱時間	58
・ 6. オートシャットオフ時間	59
・ 7. 数字表示速度	59
・ 8. 用紙排紙時間	59
・ 9. コピー開始時間	59
・ 10. ブックコピー開始時間	60
・ 12. コピーカウントモード	60
・ 13. 定寸カットモード	60
・ 15. プザーオフモード	60
・ 17. 数値高速表示カウント	60
・ 19. 予熱補助表示モード	61
・ 20. バックアップディスプレイ	61
・ 21. 原稿排紙方向	61
電源 On 時の設定を変更するとき	62

### 5 保守・運用のために

---

使用上のお願ひ	63
設置、移動、廃棄について	64
・ 移動について	64
・ 設置条件	64
設置に必要なスペース	65
清掃のしかた	66
・ 露光ガラスの清掃	66
・ 原稿反射板、 搬送コロの清掃	66
・ ブックキャリアの清掃	67

### 6 仕様

---

仕様	69
電波障害について	70
おもな付属品	70
オプションについて	71
索引	73
消耗品	74
製品の保守サービスについて	75
保守サービス契約書について	75
補修用性能部品について	75

# こんなことができます

KM-5420w

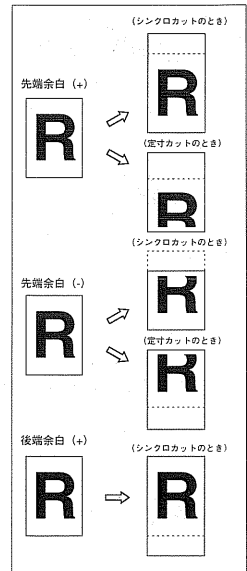
【緊急ストップ】キー  
原稿の搬送を中止します。  
⇒P.25

【リセット/予熱】キー  
設定した内容を取り消します。  
3秒以上押し続けると  
予熱状態になり、節電でき  
ます。操作パネル上のどれ  
かのキーを押すか、原稿ま  
たは用紙をセットすれば予  
熱が解除されます。⇒  
P.35「予熱」

【カット長さ】キー  
・シンクロカット⇒P.28  
・定寸カット⇒P.28

【用紙】キー  
ロールユニット（オプショ  
ン）を装着したときに、給  
紙方法を選択します。

【余白】キー⇒P.33



【定着温度】キー⇒P.32

数値表示部  
先端余白、後端余白、コ  
ピー枚数などの数値を表示  
します。

コピー濃度調整⇒P.31

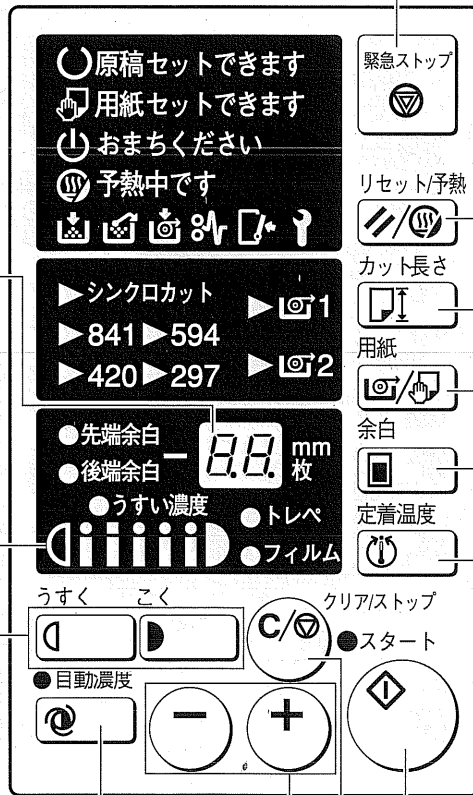
【うすく】【こく】キー  
⇒P.31  
コピーの濃度を調整しま  
す。

【自動濃度】キー⇒P.31

【+】【-】キー  
余白の数値やコピー枚数を  
指定します。

【クリア/ストップ】キー  
クリア……セット枚数など  
を取り消します。  
ストップ…コピーを停止  
し、排出します。

【スタート】キー⇒P.27  
コピーを開始します。



ZCNS010J

【緊急ストップ】キー  
原稿の搬送を中止します。  
⇒P.25

【リセット/予熱】キー  
設定した内容を取り消します。  
3秒以上押し続けると予熱状態になり、節電できます。操作パネル上のどれかのキーを押すか、原稿または用紙をセットすれば予熱が解除されます。⇒P.35「予熱」

数値表示部  
先端余白などの数値を表示します。

コピー濃度調整⇒P.31

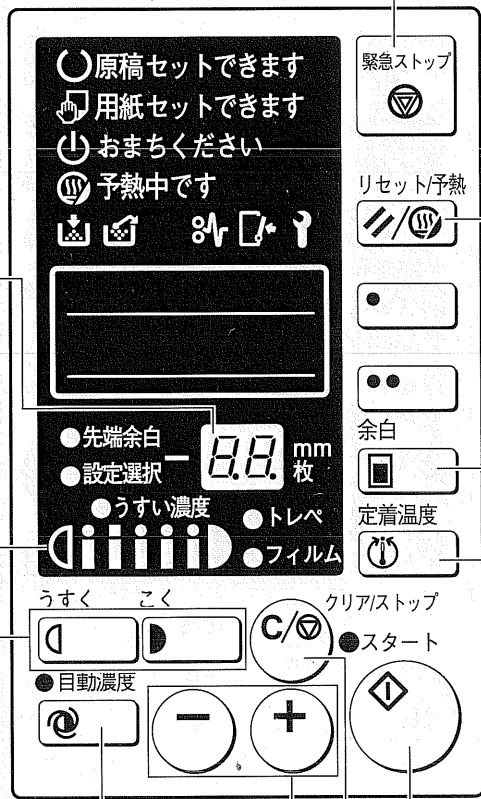
【うすく】【こく】キー  
⇒P.31  
コピーの濃度を調整します。

【自動濃度】キー⇒P.31

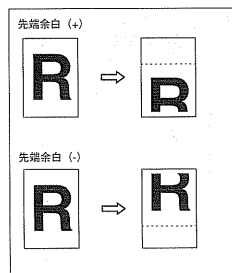
【+】【-】キー  
余白の数値を指定します。

【クリア/ストップ】キー  
クリア……余白の数値などを取り消します。  
ストップ…コピーを停止し、排出します。

【スタート】キー⇒P.25  
コピーを開始します。

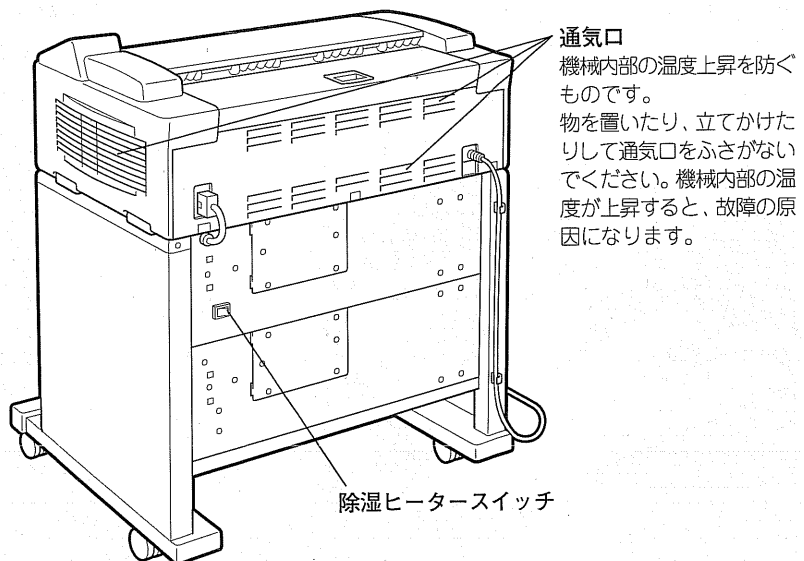
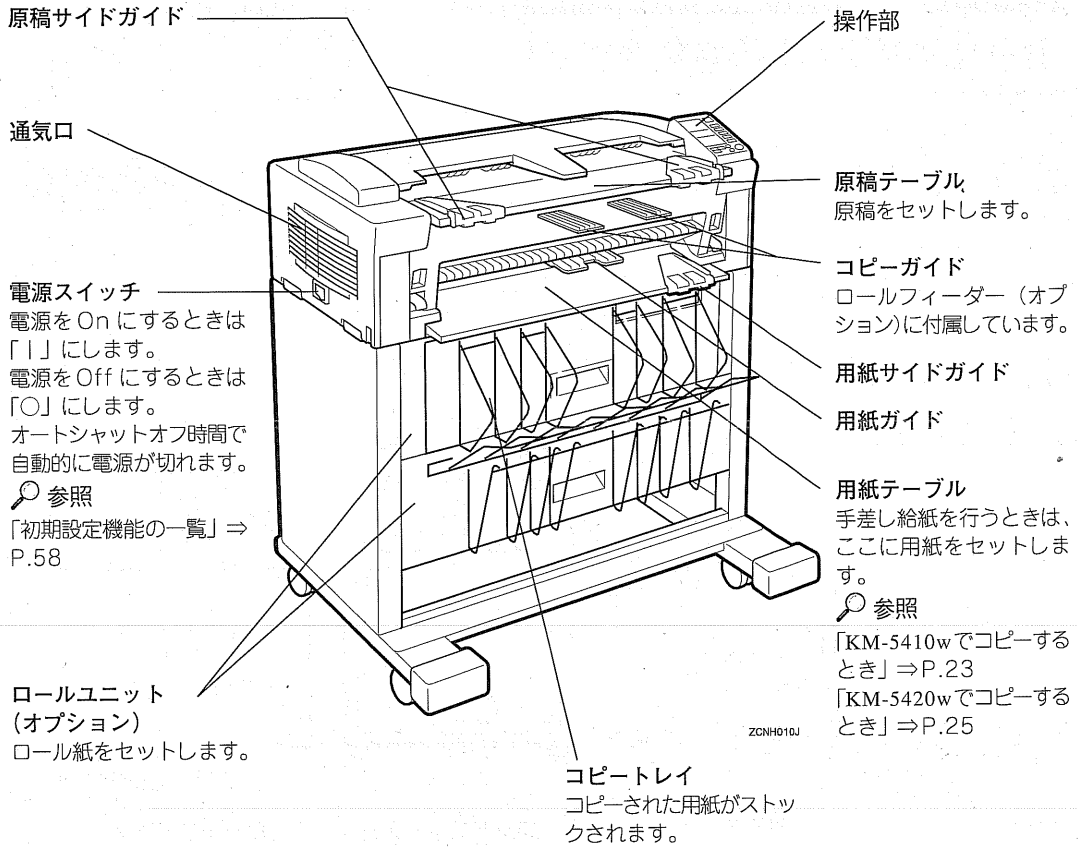


【余白】キー⇒P.33



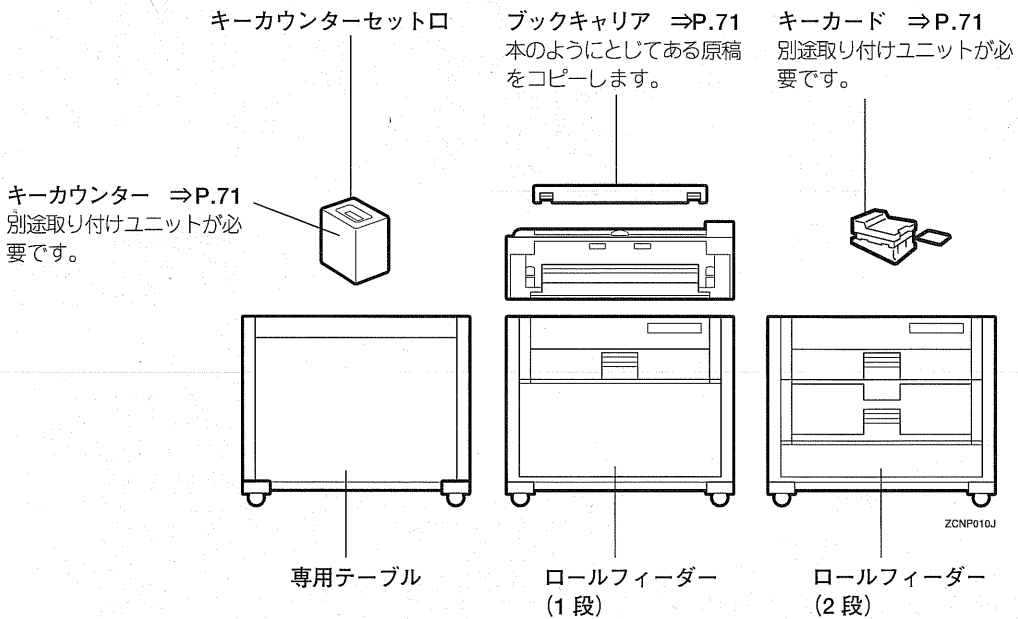
【定着温度】キー⇒P.32

# 各部の名称とはたらき



## おもなオプションの名称とはたらき

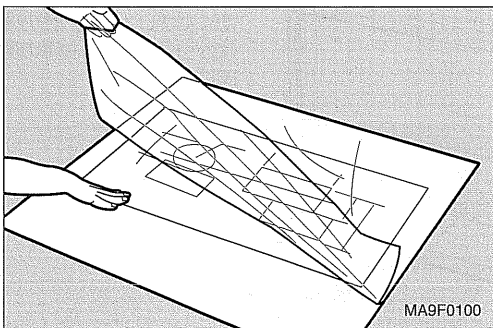
KM-5420w



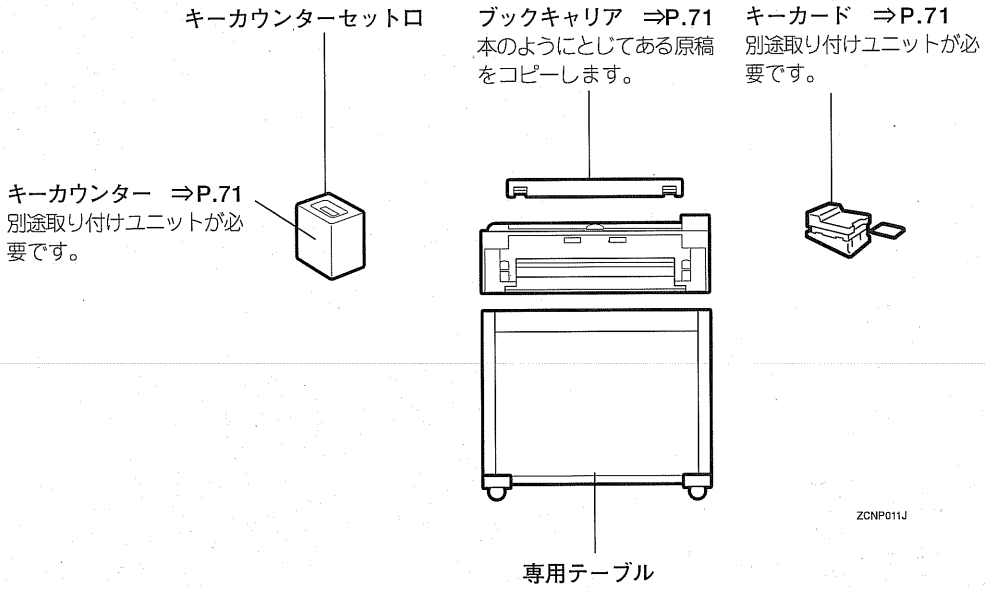
### キャリアシート

「キャリアシートを使用する原稿」に記載されている原稿をコピーするときは、このキャリアシートをお使いください。

⇒P.16、30



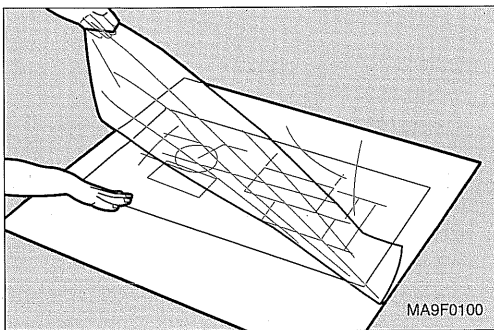
## KM-5410w



### キャリアシート

「キャリアシートを使用する原稿」に記載されている原稿をコピーするときは、このキャリアシートをお使いください。

⇒P.16、30







# コピーを始める前に 1 章

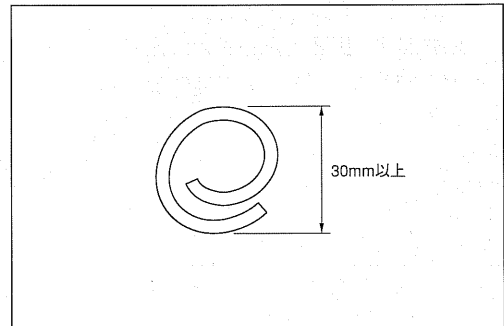
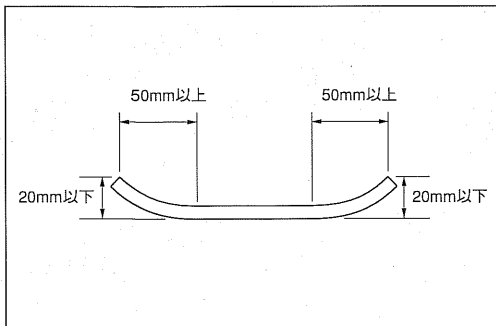
## 原稿について

### セットできる原稿のサイズと紙厚

名称	原稿サイズ	原稿紙厚
原稿テーブル	A 1 □ A2 □ □ A3 □ □ A 4 □ (長さ： ・ KM-5420w 297~2000mm ・ KM-5410w 297~841mm) (幅：210~610mm)	0.035 (約18kg 相当) ~1mm

#### ● 制限

- 紙厚が0.6~1mmの原稿を使用すると画像がふれることがあります。
- 紙厚が0.19~1mmの長い原稿は原稿排出時、原稿先端をささえながら作業してください。
- 次のような原稿は連続コピー、前排出ができません。
  - ・ キャリアシートを使用した原稿およびキャリアシートの使用をお願いする原稿⇒P.16 参照
  - ・ 長さが841mm以上の原稿
  - ・ 紙厚が0.19mm以上の原稿
  - ・ ブックキャリアを使用した原稿
  - ・ 定形サイズより縦長の原稿
  - ・ 0.04mm以下の薄紙原稿
  - ・ 腰の弱い原稿
- カールのある原稿は、下図の範囲にそりを直してください。
  - ・ 先端および後端カール：R 50mm以上、高さ20mm以下
  - ・ 全体：φ 30mm以上



- 全面に画像がある原稿をコピーすると、裏面が汚れることがあります。

## キャリアシートを使用する原稿

- 次のような原稿は原稿づまり、原稿破損や汚れによる画像の悪化の原因になります。キャリアシート（オプション）を使用して原稿をセットしてください。⇒P.12 「おもなオプションの名称とはたらき」
  - ・ 2枚以上重ねた原稿
  - ・ 折りたたんだ原稿
  - ・ 粘着テープやのりのついた原稿
  - ・ センターから40mm（幅80mm）の範囲内に穴のあいた原稿
  - ・ 耳折れしている原稿
  - ・ しわ、破れ、切欠きのある原稿
  - ・ 波打ちの多い原稿
  - ・ 張り合わせ原稿
  - ・ 先端部が曲がっている原稿
  - ・ カールが制限範囲（⇒P.15）を超える原稿
  - ・ 感熱紙、アート紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
  - ・ インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
  - ・ 柔らかい原稿
  - ・ 腰の弱い原稿
  - ・ 鉛筆で書かれた原稿

- 厚さが0.035～1mmの原稿をセットできます。

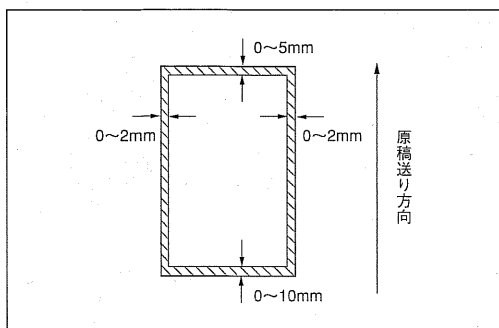
 参照

「キャリアシートのセット」⇒P.30

## 使用できない原稿

- 次のような原稿は紙づまり、原稿破損の原因となります。
  - ・ 「セットできる原稿のサイズと紙厚」の表（⇒P.15）のサイズ以外の原稿
  - ・ ステープラーの針やクリップのついた原稿
  - ・ 濡れた原稿
  - ・ 紙、フィルム以外の原稿
  - ・ 先端部に厚紙を貼り付けた原稿
  - ・ インクや修正液などが乾いていない原稿
  - ・ 銀紙

## 原稿サイズと読み取り範囲



- 上の図のように、原稿の周囲にはコピーされない部分があります。

# 用紙について

コピーを始める前に  
用紙について

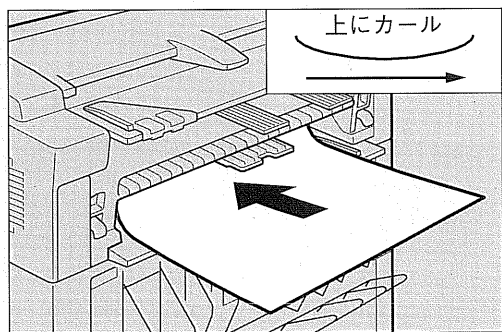
## セットできる用紙サイズ、種類

- 用紙はできるだけ当社製品をお使いください。用紙の厚さが適当であれば市販されているものを使うこともできます。『普通紙 (64g/m<sup>2</sup>)』程度のものが最適です。⇒P.74「消耗品」
- 本機にセットできる用紙サイズと種類は次のとおりです。

	セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
用紙テーブル	普通上質紙 51~134g/m <sup>2</sup> (44~115kg) トレーシングペーパー (第二原図用紙) 51~134g/m <sup>2</sup> (44~115kg) フィルム (76~102 μ)	A1 □ A2 □ □ A3 □ □ A4 □ 最大 610X2000mm	1枚
ロールユニット (オプション)	普通上質紙 51~134g/m <sup>2</sup> (44~115kg) トレーシングペーパー (第二原図用紙) フィルム	ロール紙の長さ: 150m 紙管 内径: 75.7~76.9mm 幅: 210~594mm	(ロール径φ 180mmまで) —

### 補足

- B列の用紙は使用できません。
- カールした用紙を使用する場合は、修正してからご使用ください。修正してもカールが戻らないときは、カール面を上にしてセットしてください。



ZCNH030J

## 用紙のストック

- コピートレイにストックできるコピー枚数は次のとおりです。

A3□ 以上の普通紙	10 枚
A3□、A4□ 普通紙	3 枚
トレーシングペーパー	3 枚

- トレーシングペーパー（第二原図用紙）は、手を添えてストックしてください。
- A3□ 以下の用紙は、手を添えてストックしてください。

## 普通紙にコピーするとき

- 高温高湿の環境で A1 の普通紙を 30 枚以上連続コピーするときは、30 枚ごとに 10 分程度時間をあけてください。

## 縁取り紙にコピーするとき

本機で縁取り紙にコピーしたときの画像については保証できません。もし縁取り紙にコピーするときには次のような方法でコピーしてください。

- ・ 波打ちの少ない方を先頭にして挿入する。
- ・ 定着温度は普通紙（無点灯）モードを選択する。

## フィルムにコピーするとき

- 1 枚ずつコピー受けから取り除き、平らなところに置いてください。

## トレーシングペーパー（第二原図用紙）にコピーするとき

- 50 枚以上連続コピーするときは、50 枚ごとに 10 分程度時間をあけてください。

## ロール紙について

- 紙管全面にのりづけされたロール紙は使用しないでください。
- ロール紙をロールフィーダーにセットしたまま放置したときは、ご使用前に先端をカットしてください。（第 1 ロール 500mm、第 2 ロール 1000mm）

## 使用できない用紙

### ⚠注意



・ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙などの導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

次の用紙はセットしないでください。用紙がつまってしまいます。

- ・ そり、折れ、しわのある用紙
- ・ 穴が空いている用紙
- ・ ツルツルすべる用紙
- ・ 破れのある用紙
- ・ すべりにくい用紙
- ・ 薄くてやわらかい用紙
- 目の粗い用紙にコピーすると、かすれることがあります。
- 用紙がカールしていると、コピーがきれいにとれないことがあります。
- 指定紙以外の用紙（特にケミカル和紙、薄手のフィルム、OHP フィルム、はくり紙など）にコピーすると、用紙がつまったり、画像異常やしわなどが発生することがあります。
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された用紙は使用しないでください。故障の原因になります。
- 一度コピーされた用紙は再使用しないでください。

## 用紙の保管

- 用紙の保管には、次の注意を守ってください。
  - ・ 直射日光の当たらないところに置いてください。
  - ・ 湿度70%以下のところに置いてください。
  - ・ 平らなところに置いてください。
- 一度開封した用紙は、湿気を吸わないようにポリ袋に入れてください。

## 用紙の取り扱い

- 設置場所の湿度によって、用紙は次のように取り扱ってください。

%	コピーの状態	処置
低 湿 ↑	トレーシングペーパー（第二原 図用紙）、普通紙共に白抜け、 しわなどが発生します。	・ 設置環境の整備（空調設備、超音波加湿器以外の加湿 器の設置）をしてください。 ・ コピー後、すぐに用紙を本機から外し、ポリ袋に入れ て保管してください。
	トレーシングペーパー（第二原 図用紙）に白抜けが発生します。	・ 機械の使用間隔があくときは、トレーシングペー パー（第二原図用紙）を本機から外し、ポリ袋に入れ て保管してください。
40 (目安)		・ 1日のコピー終了後は、用紙をポリ袋に入れて保管して ください。
70	トレーシングペーパー（第二原 図用紙）、普通紙共に白抜け、 紙づまりが発生します。	・ 機械の使用間隔があくときは、用紙を本機から外し、 ポリ袋に入れて保管してください。
↓ 高 湿	トレーシングペーパー（第二原 図用紙）、普通紙共に白抜け、 しわ、紙づまりなどが発生します。	・ 設置環境の整備（空調設備、除湿器の設置）をして ください。 ・ コピー後、すぐに用紙を本機から外し、ポリ袋に入れ て保管してください。

## 除湿ヒーターについて

本体とロールユニット（オプション）には除湿ヒーターがついています。本体の除湿ヒーターは電源スイッチがOffの状態でもOnになります。

湿度が45%以上のときや、急激な温度変化のあるときはロールユニットの除湿ヒーターをOnにしてください。

### 重要

- 上記以外のときはOffにしてください。

### 補足

- 本体の電源スイッチがOffの状態でも本体とロールユニットの除湿ヒータースイッチはOnにすることができます。

## 用紙の補給・用紙の交換

### 参照

「用紙がなくなったとき」⇒P.46

# トナーについて

## トナーの取り扱いについて

### ⚠警告



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどをする恐れがあります。
- トナーまたは、トナーの入った容器を廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

### ⚠注意



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

### ⚠注意

- トナーは弊社の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、トナーは『ブラックトナーBK-30』をご使用ください。

### 🚨重要

- 違うタイプのトナーを使うと、故障の原因になります。
- 🔧 補足
- 使用済みトナーは再使用できません。

## トナーの保管

- トナーの保管には、次の注意を守ってください。
  - ・ 直射日光の当たらない、低温で乾燥したところに置いてください。
  - ・ 平らなところに置いてください。

## トナー補給のしかた

### 🔍参照

「トナーがなくなったとき」⇒P.49



## 基本的なコピーのとりかた

### 参照

ブックキャリアを使用するコピーについては、ブックキャリアの「コピーのしかた」を参照してください。⇒P.39

### 補足

● オプションのキーカード、キーカウンターを取り付けた機械では、キーカード、キーカウンターをセットしないと「OP」が表示され、コピーができません。

### ◆こんなこともできます

- 基本機能の初期設定値を変更することができます。⇒P.55「初期設定値の変更」
- 排紙の方法を設定できます。⇒P.61「原稿排紙方向」
- 電源On時（【リセット/予熱】キー押下時）の設定を変更することができます。⇒P.62「電源On時の設定を変更するとき」
- コピー操作後、一定時間何も操作しないと電源を入れた状態に戻ります。（オートクリア）
  - ・ オートクリアされるまでの時間を変更する「オートクリア時間」⇒P.58
- コピー操作後、一定時間何も操作しないと自動的に予熱モードになります。
  - ・ 予熱モードになるまでの時間を変更する「自動予熱時間」⇒P.58
- コピー終了後、一定時間何も操作しないと電源が切れたときの状態になります。これを「オートシャットオフ」といいます。オートシャットオフされるまでの時間を変更することができます。「オートシャットオフ時間」⇒P.59

## KM-5410w でコピーするとき

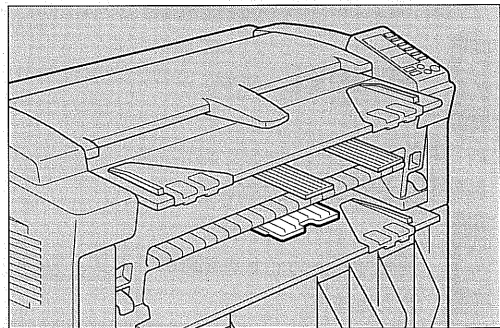
用紙テーブルに用紙をセットしてコピーします。

### 参照

用紙テーブルにセットできる用紙の種類や方向、枚数については「用紙について」を参照してください。⇒P.18

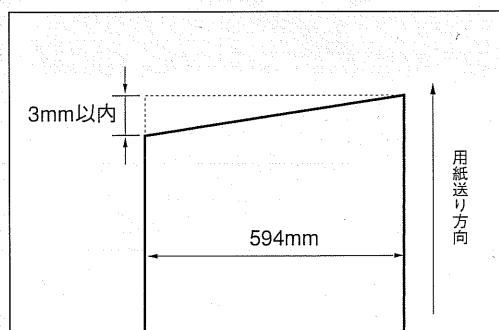
### 補足

- 用紙は1枚ずつ用紙テーブルにセットします。
- コピーが手差し部に入るのを防ぐため、用紙排紙部の用紙ガイドを必ずセットしてください。



### 補足

- 用紙は斜めにならないようまっすぐ挿入します。
- 先端が直角な用紙を使用してください。たとえば、A1□の用紙を使用する場合は直角度のずれが3mm以内になるようにしてください。



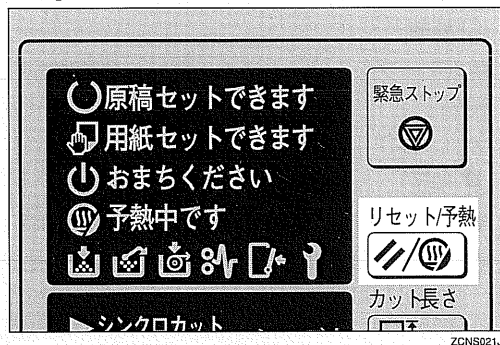
### 補足

- 841mm以上の長い原稿は床につかないよう

# 1 前の設定が残っているときは、【リセット／予熱】キーを押します。

補足

- 原稿テーブルに原稿などを載せたとき、原稿センサーが原稿を検知すると、【リセット／予熱】キーは押せません。

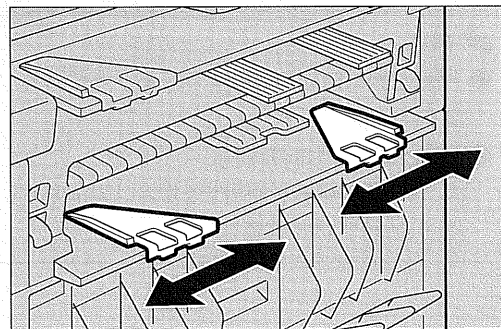


# 2 機能の設定をします。

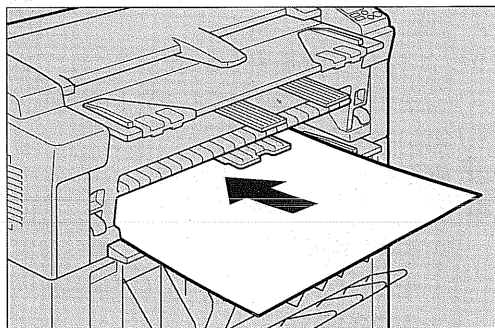
参照

各機能を参照してください。

# 3 用紙サイドガイドを用紙のサイズと方向に合わせてます。



# 4 用紙サイドガイドに合わせて用紙を挿入します。



補足

- 用紙はコピーする面を下にして挿入します。
- 用紙は先端が突き当たるまでまっすぐ挿入します。
- 用紙が少し引き込まれるまで手を離さないでください。用紙が引き込まれるまでの時間を初期設定で変更することができます。⇒P.59「コピー開始時間」
- 原稿と用紙をセットする順序が変わってもコピーできます。
- 用紙を先にセットしたときは、120秒以内に原稿をセットしないと用紙が排出されます。

重要

- 用紙サイドガイドが用紙サイズに合っていないと、斜めにコピーされたり、用紙が詰まるなどの原因になります。

# 5 “原稿セットできます” が点灯していることを確認します。

# 6 原稿をセットします。

参照

「原稿のセット」⇒P.29

補足

- 【クリア／ストップ】キーを押すと原稿が排紙され、原稿をセットし直すことができます。
- 【スタート】キーを押してコピーを始めることができます。⇒P.58「原稿スタートキー有効」

### 原稿スタートキー有効設定がOffのとき

- ① コピーが自動的に始まります。

### 原稿スタートキー有効設定がOnのとき

- ① 【スタート】キーを押します。  
コピーが始まります。

#### 補足

- 原稿をセットすると【スタート】キーのランプが点灯します。

- ⑦ コピー終了後、【クリア/ストップ】キーを押します。  
原稿が排紙されます。

#### 補足

- 原稿の搬送を中止するときは【緊急ストップ】キーを押します。

【緊急ストップ】キーを押すと、その時点で原稿の搬送を止めるため原稿がつかまる場合があります。このとき、用紙の排出作業は継続します。  
⇒P.51「用紙や原稿が詰まったとき」

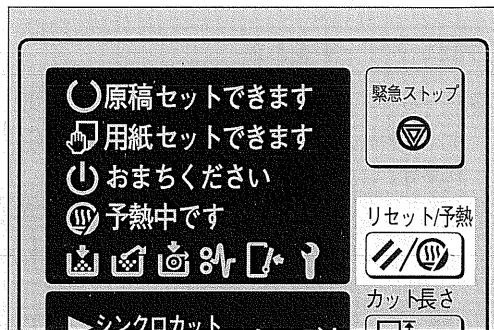
- コピーを停止/中止するときは【クリア/ストップ】キーを押します。【クリア/ストップ】キーを押すと、実行中(1枚分)のコピーを終了してから中止/停止します。
- 連続で大量にコピーをすると、“おまちください”が表示されコピーが一時中断することがあります。
- コピー中は原稿を手で押さえたり、引き抜いたりしないでください。
- コピー中は、原稿カバーに荷重をかけないでください。
- 用紙の先端から約4mmはコピーされません。

## KM-5420w でコピーするとき

- ① 前の設定が残っているときは、【リセット/予熱】キーを押します。

#### 補足

- 原稿テーブルに原稿などを載せたとき、原稿センサーが原稿を検知すると、【リセット/予熱】キーは押せません。



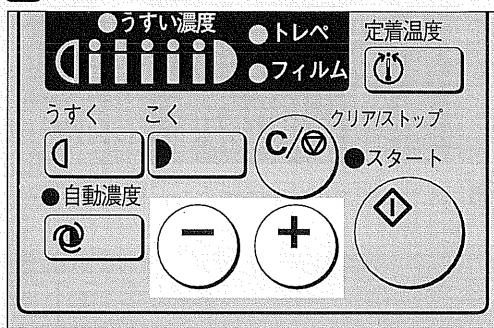
ZCNS021J

- ② 機能の設定をします。

#### 参照

各機能を参照してください。

- ③ 【+】【-】キーでコピーする枚数を指定します。



ZCNS052J

#### 補足

- 間違えたときは、【クリア/ストップ】キーを押して指定し直します。

#### 制限

- 連続コピーできる枚数は10枚までです。
- 連続コピーできない原稿もあります。⇒P.15「セットできる原稿のサイズと紙厚」



# 4

用紙をセット（またはロール1／ロール2を選択）します。

## 補足

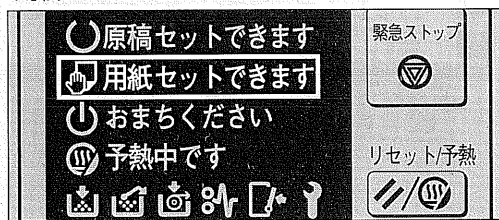
- ロール1／ロール2はロールユニット（KM-5420w 専用オプション）装着時に選択できます。

### 手差しコピーするとき

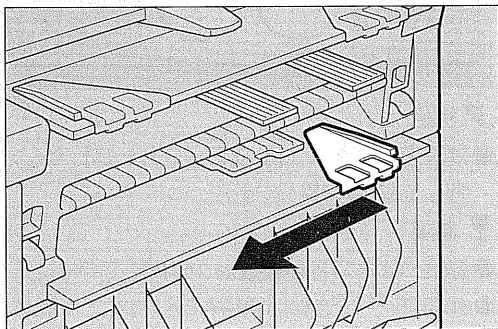
- ① ロールユニットを装着しているときは、【用紙】キーを押して、「**1**」と「**2**」を消灯させます。



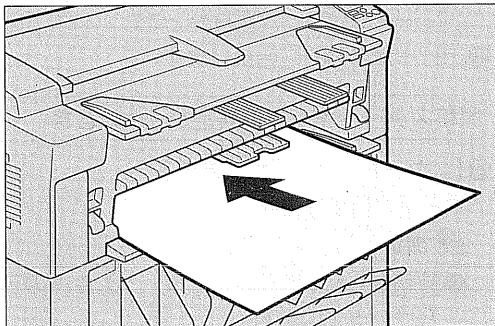
“用紙セットできます” が点灯します。



- ② 用紙サイドガイドを用紙のサイズと方向に合わせて合わせます。



- ③ 用紙サイドガイドに合わせて用紙を挿入します。



## 補足

- 用紙はコピーする面を下にして挿入します。
  - 用紙は先端が突き当たるまでまっすぐ挿入します。
  - 用紙が少し引き込まれるまで手を離さないでください。  
用紙が引き込まれるまでの時間を初期設定で変更することができます。⇒P.59「コピー開始時間」
  - 原稿と用紙をセットする順序が変わってもコピーできます。
  - 用紙を先にセットしたときは、120秒以内に原稿をセットしないと用紙が排出されます。
- 重要**
- 用紙サイドガイドが用紙サイズに合っていないと、斜めにコピーされたり、用紙がつかまるなどの原因になります。

ロール紙にコピーするとき

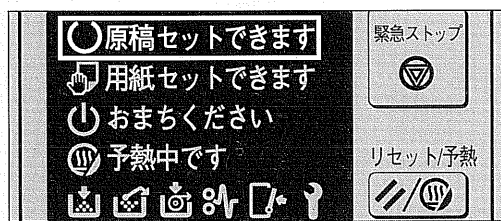
- ①【用紙】キーを押して、「1」または「2」を点灯させます。

補足

- ロールユニットにセットされているロール紙のサイズを確認してください。



“おまちください”が消灯したあと、“原稿セットできます”が点灯します。



- ② 用紙のカット長さを選択します。

参照

「用紙カット長さ」⇒P.28

**5** “原稿セットできます”が点灯していることを確認します。

**6** 原稿をセットします。  
コピーが自動的に始まります。

参照

「原稿のセット」⇒P.29

補足

- 【クリア/ストップ】キーを押すと原稿が排紙され、原稿をセットし直すことができます。
- 【スタート】キーを押してコピーを始めることができます。⇒P.58「原稿スタートキー有効」

原稿スタートキー有効設定がOffのとき

- ① コピーが自動的に始まります。

原稿スタートキー有効設定がOnのとき

- ①【スタート】キーを押します。

コピーが始まります。

補足

- 原稿をセットすると【スタート】キーのランプが点灯します。

**7** コピー終了後または連続コピー停止後は、【クリア/ストップ】キーを押します。  
原稿が排紙されます。

補足

- 原稿の搬送を中止するときは【緊急ストップ】キーを押します。

【緊急ストップ】キーを押すと、その時点で原稿の搬送を止めるため原稿がつかまります。このとき、用紙の排出作業は継続します。  
⇒P.51「用紙や原稿がつかまったとき」

- コピーを停止/中止するときは【クリア/ストップ】キーを押します。【クリア/ストップ】キーを押すと、実行中(1枚分)のコピーを終了してから中止/停止します。

- 連続で大量にコピーをすると、“おまちください”が表示されコピーが一時中断することがあります。

- コピー中は原稿を手で押さえたり、引き抜いたりしないでください。

- コピー中は、原稿カバーに荷重をかけないでください。

- 用紙の先端から約4mmはコピーされません。

- 手差しの連続コピー時、セットした枚数分のコピーが終わると、“用紙セットできます”が点灯します。このとき用紙をセットしても、次の原稿を挿入しない限りコピーされません。用紙は一定の時間が経過すると自動的に排紙されます。

用紙排紙時間を変更する⇒P.59「用紙排紙時間」

## 用紙カット長さ

### 操作の前に

- 用紙カットの長さには、次の2種類があります。

#### 「シンクロカット」

原稿と同じ長さに用紙をカットします。

#### 「定寸カット」

4つの固定長さ(841/594/420/297)から選択した寸法に用紙をカットします。

- 定寸カットでは、用紙は原稿のサイズに関係なくカットされます。
- 定寸カットでは、入力後オートクリア機能が働くまで記憶され、同じ長さでカットされます。
- 制限
- シンクロカットできる長さは297~2000mmです。

### 補足

- 【カット長さ】キーを押したときのランプの点灯順序を設定できます。⇒P.60「定寸カットモード」
- 用紙のカット長を調整することができます。⇒P.58「カット長調整」

## 定寸カット

1

- 【カット長さ】キーを押して、選択する長さを点灯させます。



### 補足

- 他の機能を設定しないときは、原稿をセットしてコピーを始めます。

## シンクロカット

1

- 【カット長さ】キーを押して、「シンクロカット」を点灯させます。



### 補足

- 他の機能を設定しないときは、原稿をセットしてコピーを始めます。

# 原稿のセット

## 🔍 参照

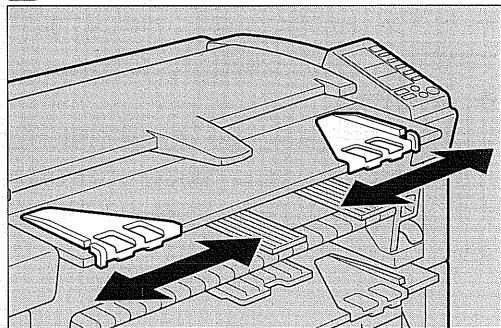
原稿についての諸注意は「原稿について」を参照してください。⇒P.15

## 🔧 補足

- 修正液やインクは完全に乾いてからセットしてください。乾かないまま原稿をセットすると露光ガラスが汚れ、その汚れがコピーされてしまいます。
- 鉛筆で書かれた原稿は、原稿面に付着した鉛筆の粉が機械の搬送面やコンタクトがガラスを汚し、コピー面の黒スジの原因になります。キャリアシートのご使用をおすすめします。

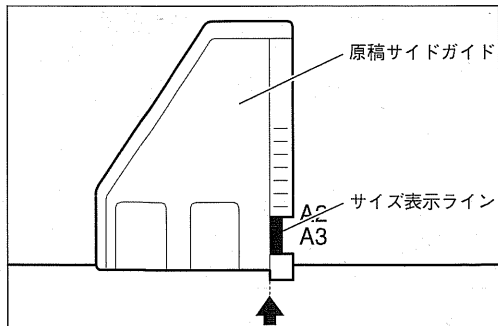
## 1

原稿サイドガイドを原稿サイズ表示に合わせてませす。



## 🚨 重要

- 原稿の斜め送りおよび原稿づまりを防ぐため、原稿サイドガイドを原稿に合わせてください。原稿サイドガイドを原稿に合わせないと原稿が破損することがあります。



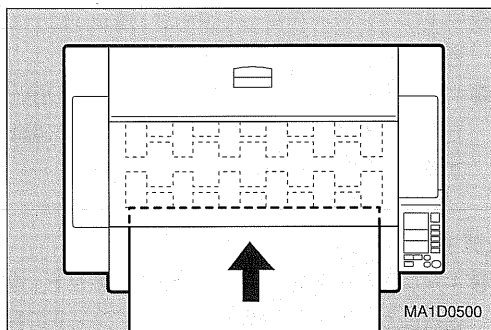
## 2

原稿面を下向きにして、原稿ガイドに沿わせて挿入します。

コピーが始まります。

## 🔧 補足

- 前の原稿を取り除いてから次の原稿をセットしてください。
- 原稿はローラーに突き当たるまでまっすぐ挿入します。



- 原稿が少し引き込まれるまで手を離さないでください。原稿が引き込まれるまでの時間を初期設定で変更することができます。⇒P.59「コピー開始時間」
- 大きなサイズの原稿をセットする場合は、両手で挿入してください。
- 厚紙の大判サイズの原稿はテーブルにかからない部分が重さでたわむため、搬送を妨げない程度に両手を添えて挿入してください。搬出された原稿も同様に両手を添えて取り出します。
- 原稿を並列で挿入しないでください。
- 原稿テーブルの左右端に最大通紙幅ラインがあります。(点線で表示)  
原稿の左右端が最大通紙幅ラインから5mmを超えた場合は【緊急ストップ】キーを押して機械を停止してください。その後、原稿カバーを開けて原稿を取り除いてください。
- “原稿セットできます”が表示されているときに、原稿を挿入してください。
- 異なるサイズで20枚以上の連続コピーをする場合は、幅の広い原稿から先にコピーしてください。

## キャリアシートのセット

### 🔍 参照

キャリアシート（オプション）を使ってコピーする原稿については、「キャリアシートを使用する原稿」を参照してください。⇒P.16

### 📄 操作の前に

● キャリアシートのサイズには、A1、A2、A3があります。

### 🚨 重要

● キャリアシートを使った原稿は、連続コピーできません。

● キャリアシートを使用するときは、原稿の排出方向は、後排出としてください。前排出を選択すると、原稿を傷める場合があります。

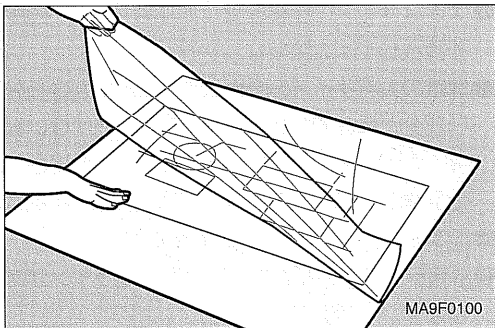
⇒P.61「原稿排紙方向」

### 🔧 補足

● キャリアシートを使用し「シンクロカット」を選択してコピーした場合、キャリアシートの長さでカットされます。

**1**

キャリアシートの透明な方を上にして開け、原稿の表面が見えるようにはさみます。

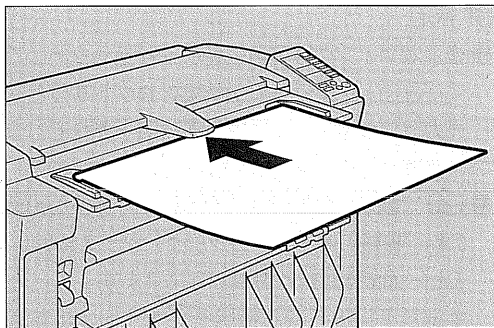


### 🔧 補足

● 原稿はキャリアシートの折り返し部分に合わせてください。

**2**

コピーする面を下にして、キャリアシートの折り返し側を原稿挿入口にセットします。



ZCNH060J

## キャリアシートの清掃

キャリアシートが汚れていると、きれいにコピーできません。汚れたら清掃してください。

### ◆お手入れ方法

やわらかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れがとれないときは、水で濡らして固く絞った布で拭きます。水拭き後、乾拭きをして水気を十分に取ります。



## コピー濃度調整

📖 操作の前に

●コピー濃度の調整には、次の2種類があります。

◆自動濃度

適切な濃度でコピーします。

◆うすく/こく

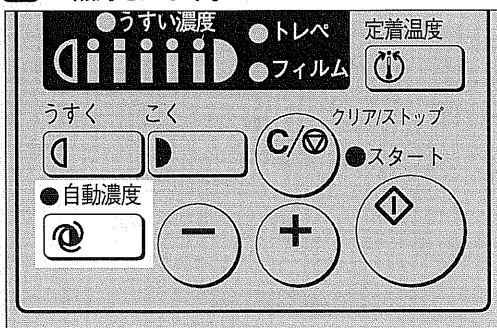
「うすい濃度」が点灯している5段階と、点灯していない5段階の計10段階の濃度が指定できます。

●電源を入れたときには、「自動濃度」が点灯します。

### 自動濃度

1

【自動濃度】キーを押して、「自動濃度」を点灯させます。



🔧 補足

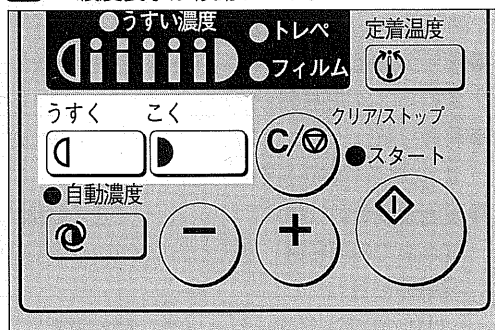
●他の機能を設定しないときは、原稿をセットしてコピーを始めます。

### うすく/こく

1

【うすく】または【こく】キーを押して濃度を選択します。

濃度表示が移動します。




🔧 補足

●【うすく】キーを押すと表示がひとつずつ左に移動します。左端までいくと続きを右端から表示し、「うすい濃度」が点灯します。

●他の機能を設定しないときは、原稿をセットしてコピーを始めます。

## 定着温度調整

トレーシングペーパー（第二原図用紙）やフィルムにコピーするときは、トナーの定着を安定させるために、定着部の温度を切り替えます。

 操作の前に

- コピーする用紙に適さない定着温度でコピーすると、コピーにしわが寄ったり、画像の一部が写らないことがあります。
- 厚手の普通紙は「トレペ」を点灯させてコピーを行ってください。
- 縁取り紙は「トレペ」と「フィルム」を消灯させてコピーを行ってください。
- 定着温度を切り替えてからコピーできる状態になるまでの時間は、次のとおりです（23℃の環境のとき）。

・ トレーシングペーパー（第二原図用紙）：  
約1～4分

・ フィルム：約1分30秒～7分

- 1** 【定着温度】キーを1秒以上押して、「トレペ」または「フィルム」を点灯させます。  
“おまちください”が点灯します。



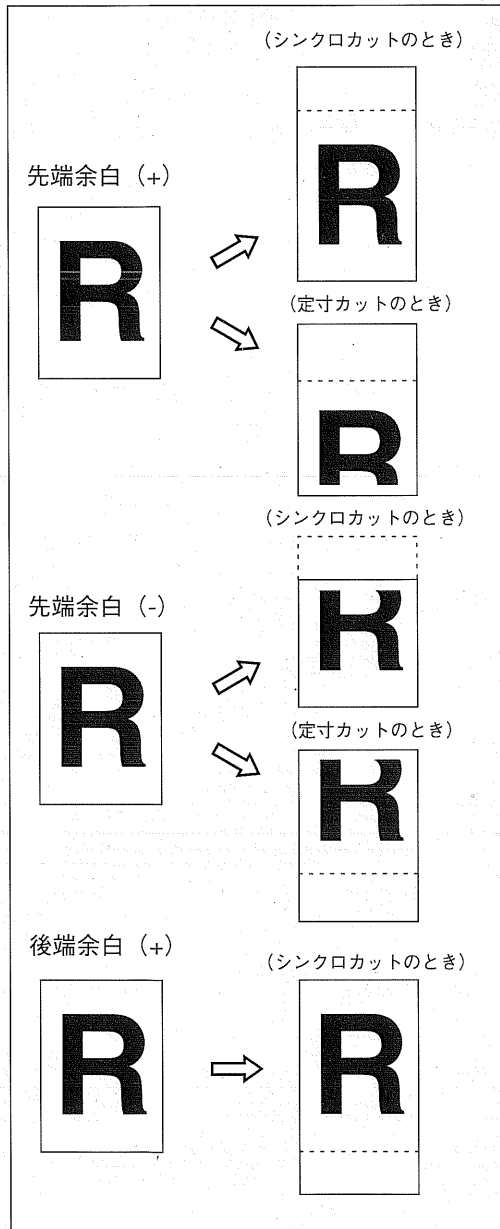
 補足

- “おまちください”が消灯し、“原稿セットできます”が点灯すると、コピーを始めることができます。

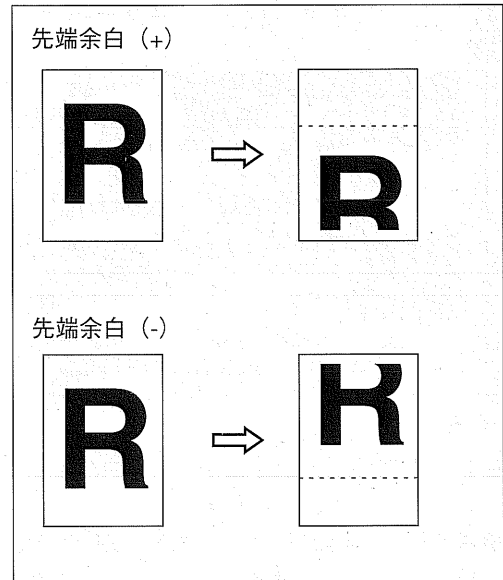
# 先端余白／後端余白

用紙の先端または後端に余白をつけてコピーすることができます。また、原稿の余白を減らしてコピーすることもできます。

## ◆ロール紙でコピーしたとき



## ◆手差しでコピーしたとき



### 操作の前に

- 先端余白は、-99～99mmの範囲内（1mm単位）で指定でき、後端余白は、0～99mmの範囲内（1mm単位）で指定できます。
- 先端余白を設定すると、余白の長さだけ画像がずれてコピーされます。手差しコピーまたはロールフィーダーの定寸カットを選択したときは、先端余白の値によっては画像が欠けてしまうことがあります。

### ● 制限

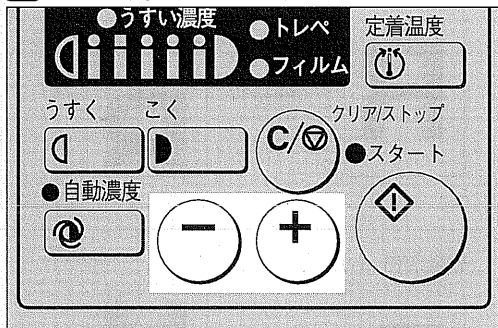
- 後端余白は、ロールフィーダーの用紙でシンクロカットを選択しているときだけ設定できます。

## 1

【余白】キーを押します。  
「先端余白」が点灯します。



- 2** 【+】【-】キーを押して、先端余白を指定します。



ZCNS052J

**補足**

- 余白を増やすときは【+】キー、余白を減らすときは【-】キーを押します。
- 間違えたときは、【クリア/ストップ】キーを押して指定し直します。
- ここで原稿をセットしてコピーすることもできます。

- 3** 【余白】キーを押します。  
【シンクロカット】を選択しているときは「後端余白」が点灯します。



ZCNS041J

- 4** 【+】【-】キーを押して、後端余白を指定します。

**補足**

- 間違えたときは、【クリア/ストップ】キーを押して指定し直します。

- 5** 【余白】キーを押します。

**補足**

- 他の機能を設定しないときは、原稿をセットしてコピーを始めます。

# その他の機能

## 予熱

電源を入れた状態で一定時間本機を使わなかったり、【リセット/予熱】キーを約3秒間押し続けると、数値表示部の表示が消えて予熱になります。

補足

●予熱時は通常の待機時より節電ができます。

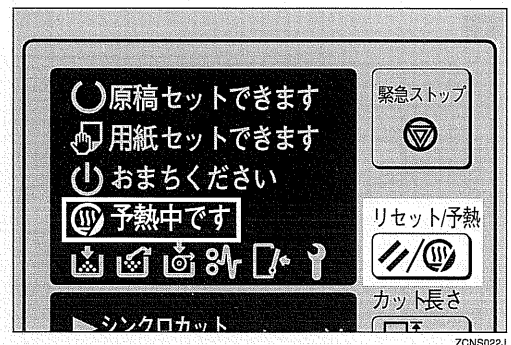
参照

●「自動予熱時間」⇒P.58

### 重要

●数値、機能を設定している途中で【リセット/予熱】キーを押すと、それまで設定したすべての内容が取り消されます。

- 1 【リセット/予熱】キーを約3秒間押し続けます。  
“予熱中です” が点灯します。



補足

●操作パネル上のどれかのキーを押すか、原稿または用紙をセットすると予熱が解除されます。

# ブックキャリア

ブックキャリア（オプション）を使用すると、本のようにしてある原稿をコピーできます。

## 重要

- ブックキャリアは、使用しないときは取り外しておいてください。
- 取り外したあとは、ローラーのある面を上にしてほこりなどを避けて保管してください。ローラーが変形すると画像不良の原因になります。

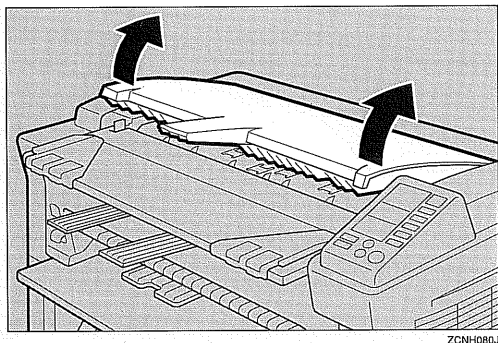
## 参照

ブックキャリアの清掃方法については「ブックキャリアの清掃」を参照してください。

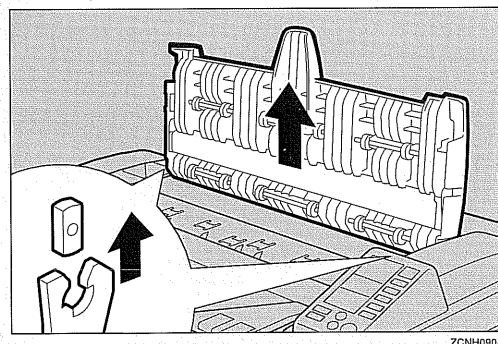
⇒P.67

## ブックキャリアの取り付け

- 1 原稿カバーを開けます。



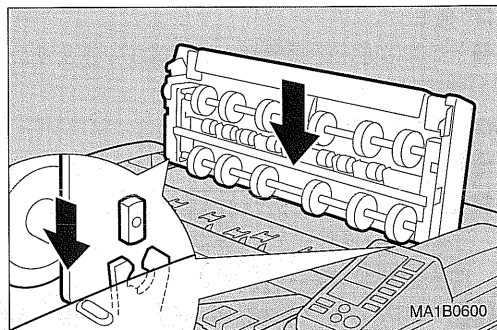
- 2 原稿カバーを取り外します。



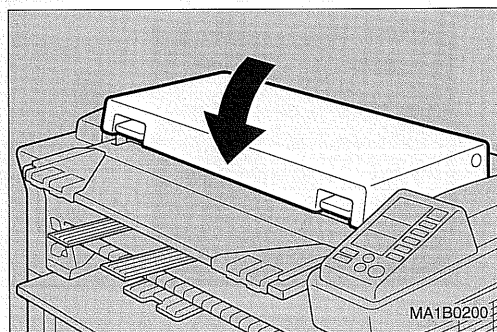
## 補足

- 原稿カバーは両手で持ってください。

- 3 セット位置に合わせてブックキャリアを取り付けます。



- 4 ブックキャリアを閉めます。



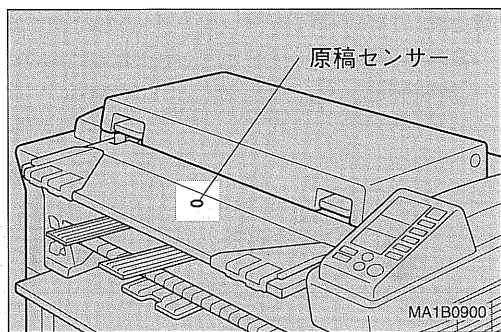
## 注意



原稿カバーやブックキャリアを着脱するときには、落とさないように両手でしっかりと持ちください。また、ブックキャリアと原稿テーブルの間に手をはさまないように注意してください。けがの原因になります。

**重要**

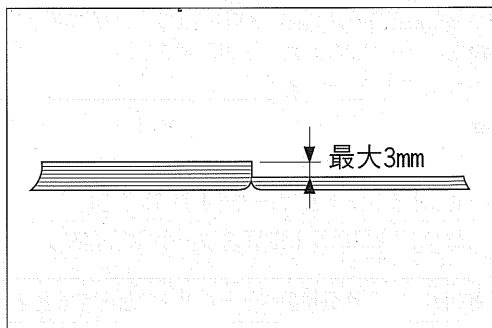
- コピーするとき以外は原稿センサーをふさがないでください。紙づまりの状態になります。紙づまりの状態になったときは、原稿センサーをふさいでいるものを取り除き、ブックキャリアを開閉してください。



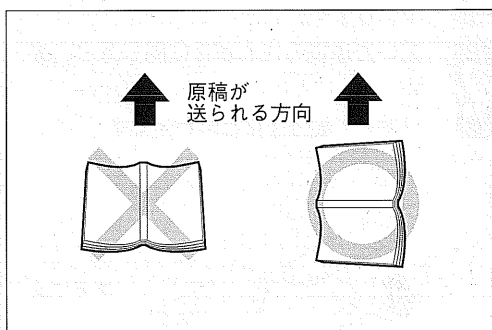
## 原稿のセット

コピーするときは、次の注意をよくお読みください。コピーがきれいにとれなくなったり原稿が破損したりする原因になります。

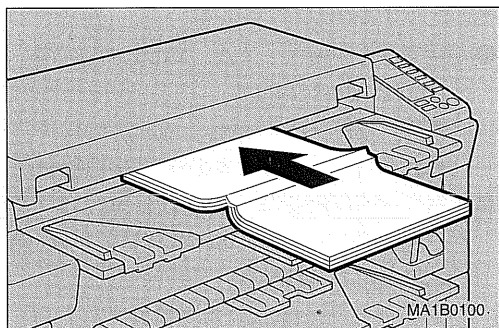
- 使用できる原稿サイズは、次のとおりです。
  - ・ 幅：210～594mm
  - ・ 長さ：297～841mm
  - ・ 厚さ：1～15mm（本の厚さ2～30mm）
- 左右ページの厚さが同じになるようにしてください。差が出るときは3mm以下にして厚い側から挿入してください。



- 本などの原稿をセットする方向は次のとおりです。



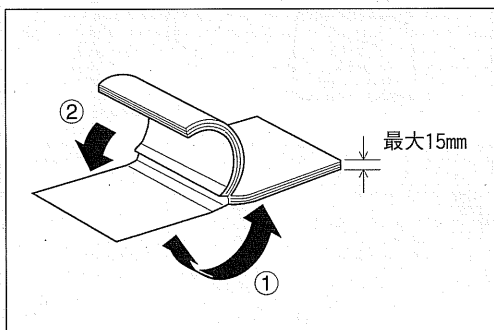
- 原稿の先端がテーブルに対してできるだけ垂直になるようにセットします。正しく挿入しないとコピー画像がぼけてしまうことがあります。



- とし部分が浮かないように原稿をしっかりと押さえてセットします。
- ブックキャリアを使用しているときは、「原稿スタートキー有効」を「On」に設定していても、【スタート】キーを使用することはできません。⇒P.58「原稿スタートキー有効」

#### 最初のページや最後のページなどをコピーするとき

- 1 コピーするページを開き、コピーする面を下にします。
- 2 開いた原稿の左右がほぼ同じ厚さ（最大15mm）になるように厚い方のページを折り返して表紙を重ね合わせます。

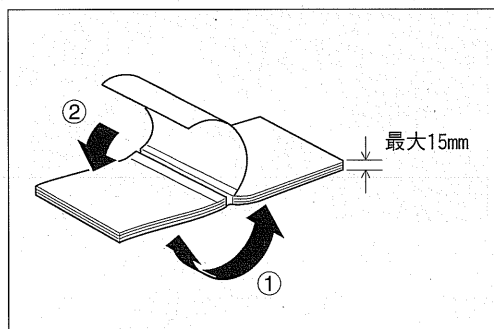


#### 中程のページをコピーするとき

- 1 コピーするページを開き、コピーする面を下にします。

#### 補足

- 左右ページの厚さが同じときは、表紙を折り返さなくてもコピーできます。厚さをそろえるときのみ図のように折り返してください。





## コピーのしかた

### ☑ 操作の前に

- 原稿の見開き中央部は、製本の状態により正しくコピーされないことがあります。
- 原稿の厚さによってコピー後端および左右端に影が出ることがあります。
- ロールフィーダーの用紙にコピーするときは、原稿の厚さに応じてコピーの後端が長めにカットされ、影が出ます。

### 1

KM-5420w は【用紙】キーを押して、給紙方法を選択します。



### ☑ 補足

- 手差しコピーをするときは、「KM-5410w でコピーするとき」の手順 2~3 の操作を繰り返します。⇒ P.24

### 2

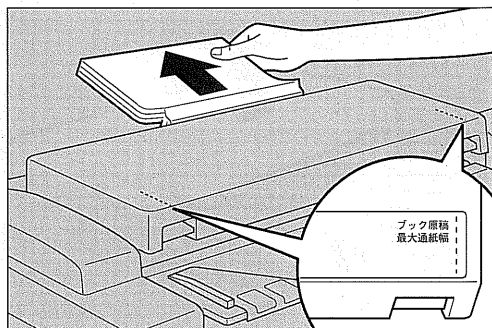
サイズ表示に合わせて原稿を差し込みます。

### ☑ 補足

- コピーする面を下にし、先端をそろえてセットします。
- 大きいサイズの原稿のときは、折り返しやすくように持って挿入するとセットしやすくなります。
- 原稿を押したり止めたりしないように原稿の動きに合わせてください。

### 3

機械から排出される原稿を手でささえます。



### ☑ 補足

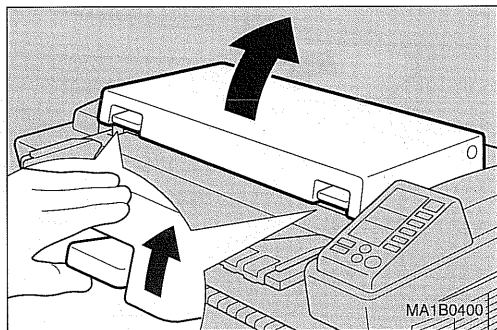
- 原稿を押したり止めたりしないように原稿の動きに合わせてください。

### ⚠ 重要

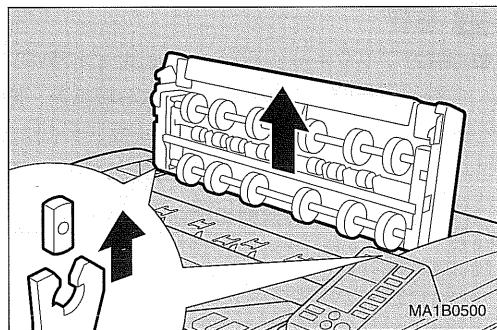
- 原稿がブックキャリアのシールのサイドライン（ブック原稿最大通紙幅）からはみ出ると、原稿が破損してしまうことがあります。サイドラインからはみ出したときは、【緊急ストップ】キーを押して原稿を取り除いてください。

## ブックキャリアの取り外し

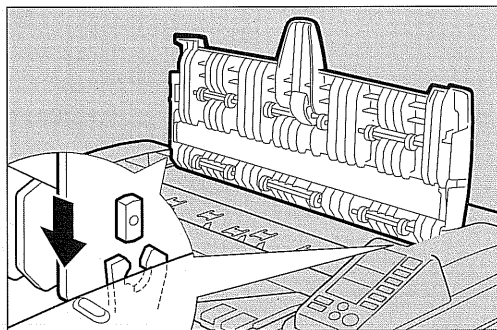
- 1** 左右のレバーを上げながらブックキャリアを開けます。



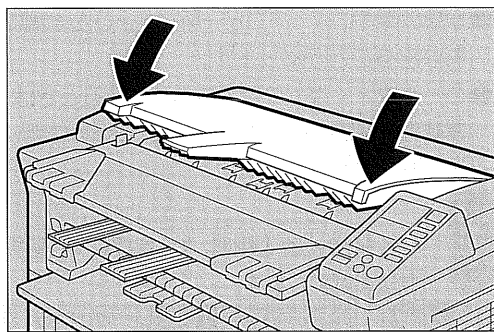
- 2** ブックキャリアを取り外します。



- 3** セット位置に合わせて原稿カバーを取り付けます。



- 4** 原稿カバーを閉めます。



## コピーが始められないとき

◆ “原稿セットできます” または “用紙セットできます” が点灯しないとき  
操作部の表示を確認し、それぞれの説明に従って対処してください。

■ 状態	■ 原因	■ 対処方法
●  が点滅／点灯した。	・ トナーがなくなりました。	・ トナーを補給してください。 ⇒P.49 「トナーがなくなったとき」
●  が点滅／点灯した。	・ 使用済みトナーが回収容器いっぱいになっています。	・ サービス担当者またはサービス実施店に連絡してください。
●  が点灯した。	・ ロールユニットに用紙がありません。	・ 用紙をセットしてください。 ⇒P.46 「用紙がなくなったとき」
	・ ロール紙が正しくセットされていません。	・ ロール紙を正しくセットしてください。 ⇒P.46 「用紙がなくなったとき」
●  が点灯した。	・ 用紙がつまっています。	・ つまった用紙を取り除いてください。 ⇒P.51 「用紙や原稿がつまったとき」
	・ 原稿がつまっています。	・ つまった原稿を取り除いてください。 ⇒P.51 「用紙や原稿がつまったとき」
●  が点灯した。	・ ロールユニットなど本機のカバーが開いています。	・ カバーを確実に閉めてください。 C.1：原稿カバー右側をセットしてください。⇒P.51 C.2：原稿カバー左側をセットしてください。⇒P.51 C.3：トナーカバーを閉めてください。⇒P.50 C.4：定着部を閉めてください。⇒P.52 C.5：ロール給紙1段目を閉めてください。⇒P.53 C.6：ロール給紙2段目を閉めてください。⇒P.53
●  が点滅／点灯した。	・ 本機が故障しています。	・ サービス担当者またはサービス実施店に連絡してください。
		補足 ● 数値表示部に英字と数字が表示されます。この表示内容も連絡してください。
◆ その他		
● “予熱中です” が点灯した。	・ 予熱が設定されています。	・ 操作パネル上のどれかのキーを押すか、原稿または用紙をセットして、予熱を解除します。⇒P.35
● 電源が入っているが何も表示されない。	・ 定着部が完全に閉まっています。	・ 定着部を閉めなおしてください。 ⇒P.52

# コピーがきれいにとれないとき

こんなときは  
コピーがきれいにとれないとき

## ■状態

●コピーに黒いすじが出る。

●原稿の裏面が透けてコピーされる。

●地肌が汚れている。

●張り合わせた部分に影が付く。

●原稿にないものがコピーされる。

●かすれてコピーされる。

## ■原因

・露光ガラスが汚れています。

・原稿にごみやほこりがついています。

・コピー濃度が濃く設定されています。

・コピー濃度が濃く設定されています。

・コピー濃度が濃く設定されています。

・露光ガラス、搬送コロ、原稿反射板が汚れています。

・コピー濃度が薄く設定されています。

・不適切な用紙をセットしています。

・トナーが残り少なくなっています。

## ■対処方法

・白色反射板、露光ガラスを清掃してください。  
⇒P.66「露光ガラスの清掃」

・原稿についたごみやほこりを取ってからコピーしてください。

特に、次のような原稿をコピーするときは注意してください。

1. 手書きやペンプロッターなどの鉛筆原稿
2. フィルム・トレーシングペーパー（第二原図用紙）などの静電気を帯びやすい原稿
3. 床につくような長い原稿

・コピー濃度を調整してください。  
⇒P.31「コピー濃度調整」

・コピー濃度を調整してください。  
⇒P.31「コピー濃度調整」

・コピー濃度を調整してください。  
⇒P.31「コピー濃度調整」

・原稿の挿入方向を変えてください。  
・張り合わせた部分にメンディングテープを使用してください。

・露光ガラス、搬送コロおよび原稿反射板を清掃してください。⇒P.66「清掃のしかた」

・コピー濃度を調整してください。  
⇒P.31「コピー濃度調整」

・当社推奨の用紙に替えてください。

### 🔧 補足

●目の粗い用紙や表面が加工されている用紙、湿気を含んだ用紙にコピーするとかすれてコピーされることがあります。

・トナーを補給してください。  
⇒P.49「トナーがなくなったとき」

■ 状態

- トナーの定着が悪い。

■ 原因

- ・ 定着温度が適切ではありません。

■ 対処方法

- ・ **【定着温度】** キーを押して、用紙に合った定着温度を選択します。→P.32「定着温度調整」
- ・ 厚手の普通紙をコピーするときは、**【定着温度】** キーを押して「トレペ」を点灯させてください。

# 思いどおりにコピーされないとき

こんなときには

思いどおりにコピーされないとき

## ■ 状態

- 紙づまりがたびたび起こる。

- コピー画像が欠ける。

- コピーされない。

- コピーが用紙の幅方向にずれる。

- コピーが原稿紙送り方向（またはその反対方向）にずれる。

- 指定した長さよりコピーが短い。またはコピーが途中でカットされる。

## ■ 原因

- ・ 用紙に折れやシワがあります。

- ・ つまった用紙や紙片が機械内部に残っています。

- ・ 原稿がカールしています。

- ・ 原稿のセット位置が間違っています。

- ・ 適切なサイズの用紙を選択していません。

- ・ 余白が設定されています。

- ・ 用紙カット長さの設定が適切ではありません。

- ・ “原稿セットできます” が点灯しないうちに原稿をセットしています。

- ・ 原稿のセット面が間違っています。

- ・ ペーパーホルダ受け台のセットの位置が正しくありません。

- ・ 原稿が原稿テーブルの原稿サイズ表示に合っていない。

- ・ 手差しコピーのとき、用紙を正しく挿入していません。

- ・ 先端余白（または後端余白）が設定されています。

- ・ 用紙カット長さの設定が適切ではありません。

## ■ 対処方法

- ・ ロール紙の折れやシワを切り取ってください。

- ・ 適切な方法で取り除いてください。  
⇒P.51「用紙や原稿がつまったとき」

- ・ 原稿のカールを直してからコピーしてください。

- ・ 原稿を正しくセットしてください。  
⇒P.29「原稿のセット」

- ・ 適切なサイズの用紙を選択し直してください。  
⇒P.18「セットできる用紙サイズ、種類」

- ・ 余白の設定値を0にしてください。

- ・ 定寸カットの長さを正しく選択してください。

- ・ “原稿セットできます” が点灯したことを確認してから原稿をセットしてください。

- ・ コピーする面を下にして原稿をセットしてください。

- ・ ペーパーホルダ受け台をロールサイズに正しく合わせてセットしてください。  
⇒P.46「用紙がなくなったとき」

- ・ 原稿サイドガイドを原稿サイズ表示に合わせ、原稿を沿わせて挿入してください。  
⇒P.29「原稿のセット」

- ・ 用紙テーブルのサイズ表示に用紙を確実に合わせてください。⇒P.24、26

- ・ 余白の設定値を0にしてください。

- ・ 定寸カットの長さを正しく選択してください。

■ 状態

- コピーが斜めに写る。
- コピーにしわがよる。

■ 原因

- ・ 原稿または用紙をまっすぐ挿入していません。
- ・ 用紙が湿気を含んでいます。

■ 対処方法

- ・ ガイドに沿わせて、まっすぐ挿入してください。

- ・ 新しい用紙に交換してください。
- ・ 除湿ヒーターを On にしてください。  
⇒P.21 「除湿ヒーターについて」
- ・ 用紙の裏表または縦横を変えてコピーしてください。

- ・ 定着温度が適切ではありません。

- ・ 【定着温度】 キーを押して、用紙に合った定着温度を選択します。⇒P.32 「定着温度調整」

- ・ 用紙の裏表または縦横を変えてコピーしてください。

- トレーシングペーパー（第二原図用紙）で波打ちが発生する。

- ・ 等倍度の初期設定値が適切ではありません。

- ・ 縦方向の等倍度の初期設定値を調整してください。  
⇒P.58 「等倍調整」

- コピーの縦方向の等倍度が合わない。

- ・ 用紙の裏表または縦横を変えてセットしてください。

- 白抜けが起こる。

- ・ 後端をバックカールにしてコピーしてください。

- 耳折れが起こる。

- 後端に白抜けが起こる。

- ・ コピー濃度を濃くしてください。

- ベタとベタの重なる部分に白抜けが起こる。

# ⏻ 用紙がなくなったとき

## ⚠ 注意



機械内部には用紙のカッターがあります。用紙の交換、補給および紙づまりの処置の際は、説明書で指定している場所以外には触れないでください。けがの原因になります。

## 📖 操作の前に

● ロール紙の紙管の取り外しや新しいロール紙のセットは、平らなところで横に行います。

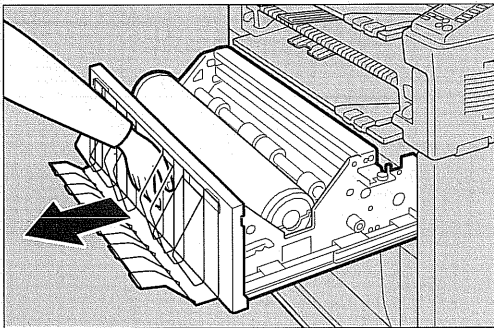
## 🔧 補足

● 用紙がなくなると、⏻ が点灯し、コピーできません。

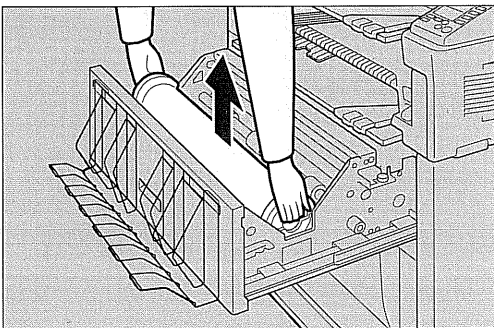
## 🔍 参照

セットできる用紙サイズ、種類は「用紙について」を参照してください。⇒P.18

**1** ロールユニットを引き出します。



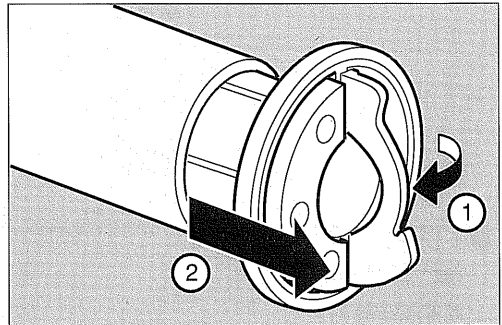
**2** 両手でペーパーホルダを持ってロール紙を取り出します。



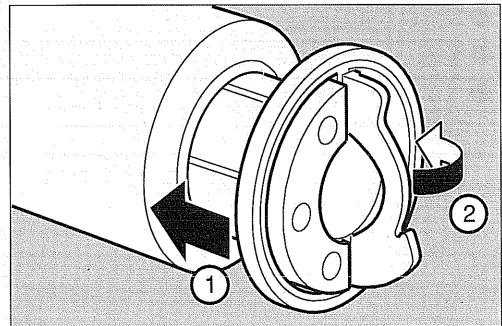
## 🔧 補足

● ロール紙をコピートレイにのせないでください。

**3** レバーを起し (①)、左右のペーパーホルダを取り外します (②)。



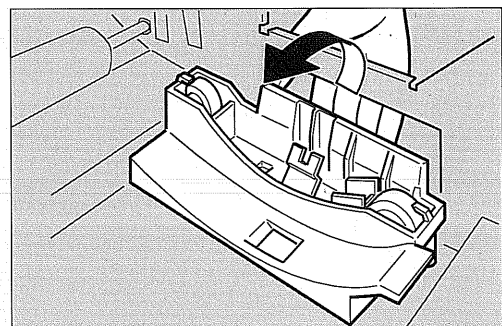
**4** 新しいロール紙にペーパーホルダをセットし (①)、レバーを倒します (②)。



**5** 用紙サイズを変えるときは用紙のサイズに合わせて、ペーパーホルダ受け台をセットします。

ペーパーホルダ受け台のはずしかた

ペーパーホルダ受け台を内側に倒します。



こんなときは  
3 用紙がなくなったとき

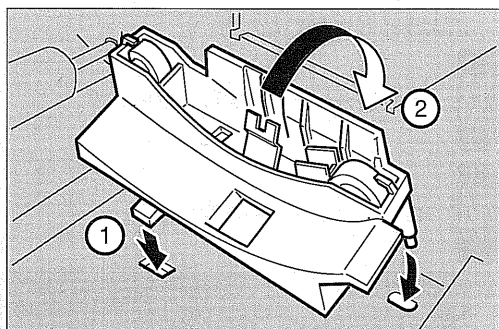


 補足

- ペーパーホルダが一番外側にセットされているときは、ロールユニットの外側から手で押してください。

ペーパーホルダ受け台のセットのしかた

まず、ペーパーホルダ受け台のフックを穴に差し込み (①)、突起を穴に合わせます (②)。

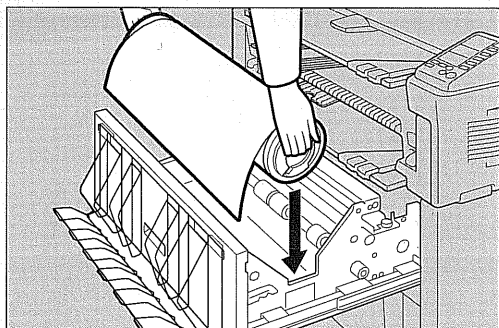


ZCNY110J

 補足

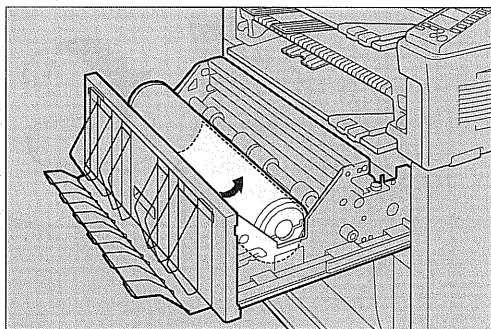
- 必ずフックを穴に差し込んでください。
- 突起が穴に入っていることを確認してください。

**6** ロール紙の巻き方向に注意しながらロール紙をセットします。



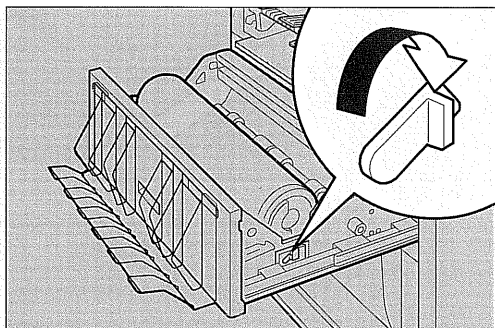
ZCNY040J

**7** 用紙の先端をローラーの下に突き当たるまで引き出します。



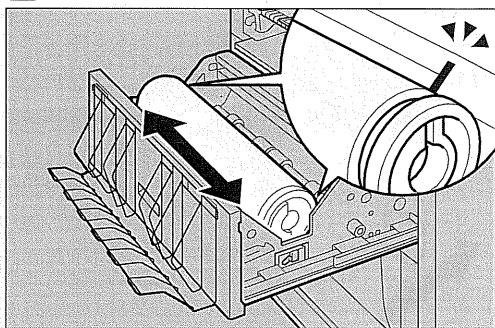
ZCNY050J

**8** レバーを上げます。



ZCNY120J

**9** 用紙の端がロールフィーダーのサイズ表示に合うよう、ロール紙の位置を調整します。

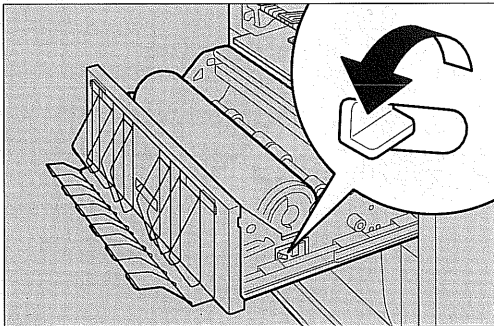


ZCNY130J



10

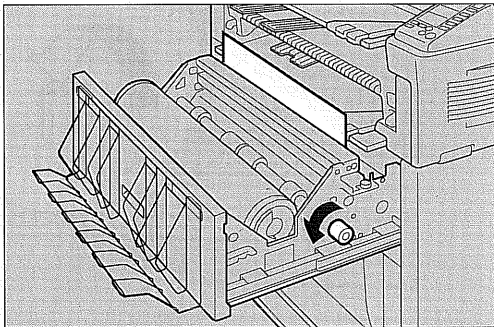
レバーを下げます。



ZCNY140J

11

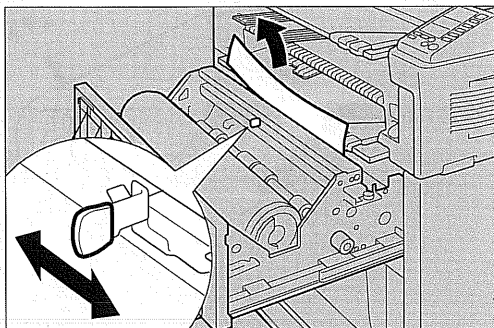
右側のノブを回しながら用紙の先端を約600mm引き出します。



ZCNY060J

12

カッターを左右にスライドさせてロール紙の先端をカットします。



ZCNY070J

**重要**

●用紙先端をカットしたあとは、カッターを必ず左右どちらかの所定の cutter 位置に戻してください。

**補足**

●ロール紙セット時は、用紙の先端を必ずカットしてください。

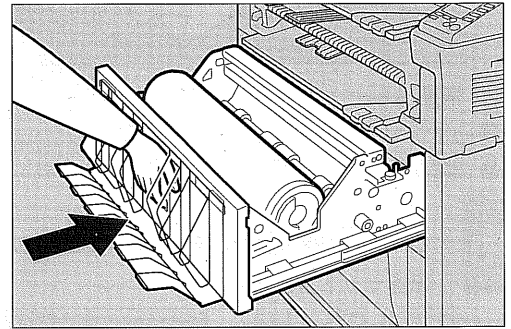
●カッターのつまみは上から力をかけないで真横にスライドさせてください。

13

カットされた用紙を取り除きます。

14

ロールフィーダーを閉めます。



ZCNY080J

# トナーがなくなったとき

## 警告



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。
- トナーまたは、トナーの入った容器を廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて、一般のプラスチックゴミと同様に処理してください。

## 注意



- トナー（使用済みのトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

## 注意

- トナーは京セラミタ指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、京セラミタ指定の『ブラックトナーBK-30』をご使用ください。

## 重要

- 違うタイプのトナーを使うと、故障の原因になります。
- トナーは必ずトナーが点滅または点灯してから補給してください。
- 電源を入れたままトナーを補給します。

## 参照

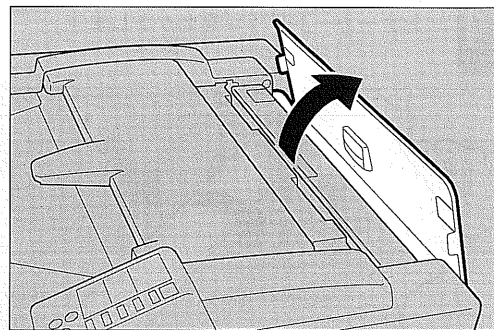
トナーの保管については「トナーの保管」を参照してください。⇒P.22

## 補足

- コピー中にトナーが点滅してもしばらくはコピーできますが、早めに補給してください。
- トナーがなくなると、トナーが点灯し、コピーできません。
- トナーを補給してからコピーできるようになるまで、「おまちください」が点灯することがあります。
- トナー交換直後または長期間使用していないときは、コピーの画像が濃くなることがあります。

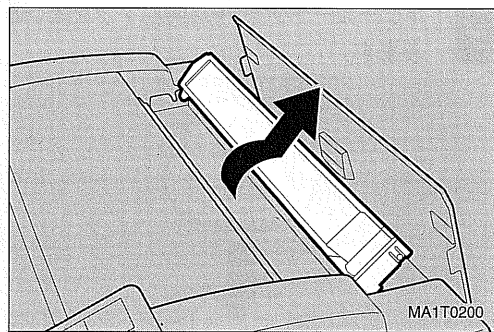
## 1

上面うしろのトナーカバーを開けます。



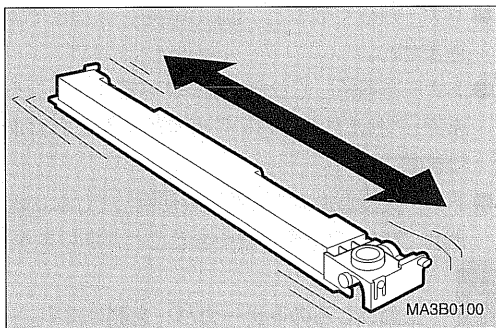
## 2

使用済みのトナーカートリッジを機械後方に開くように外します。

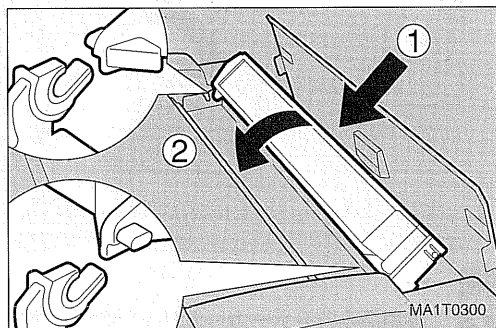


こんなときには  
トナーがなくなったとき

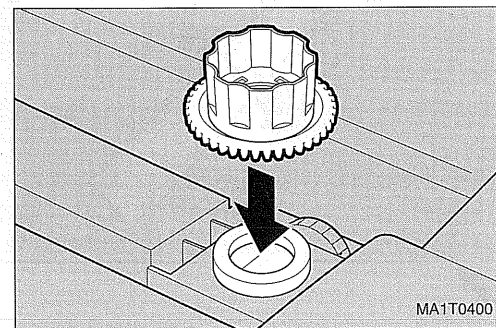
**3** 新しいトナーカートリッジを左右に5~6回振りまわします。



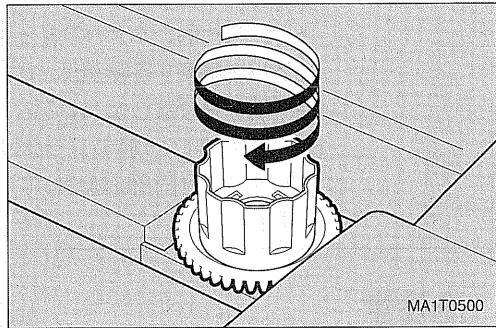
**4** トナーカートリッジをセットします。



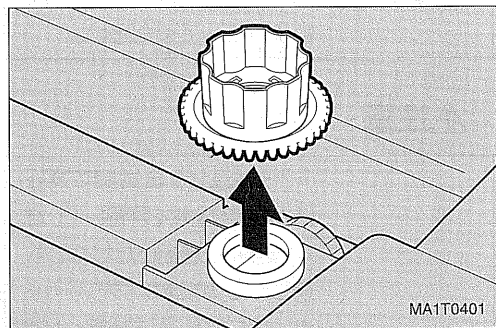
**5** トナーカートリッジの右端にノブを差し込みます。



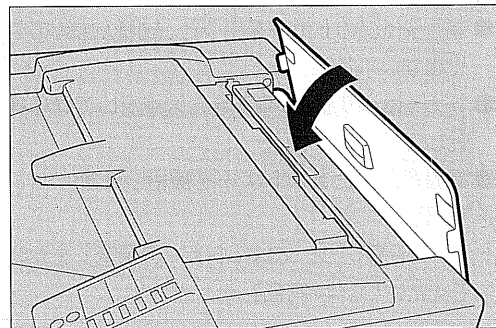
**6** ノブの中心にエンドマークの黄色いテープが見えるまでノブを回します。



**7** ノブを取り外します。



**8** トナーカバーを閉めます。



ZCNT011J

# 🚫 用紙や原稿が詰まったとき

## ⚠️ 注意



- ・機械内部には高温の部分があります。紙詰まりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。
- ・機械内部には用紙のカッターがあります。用紙の交換、補給および紙詰まりの処置の際は、説明書で指定している場所以外には触れないでください。けがの原因になります。

## 🔥 重要

- 用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙が詰まったり、故障の原因になります。
- 続けて何度も用紙が詰まるときは、サービス実施店に連絡してください。
- 原稿カバーを開けたまま5分以上放置しないでください。

## 📖 操作の前に

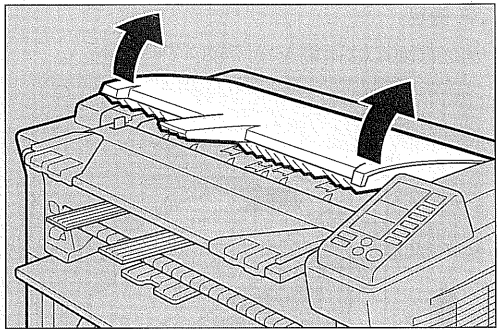
- 用紙や原稿が詰まると、🚫 が点灯し、数値表示部に“J”と数字が表示されます。  
J1 ⇒ P.51  
J2 / J3 ⇒ P.52

## 📝 補足

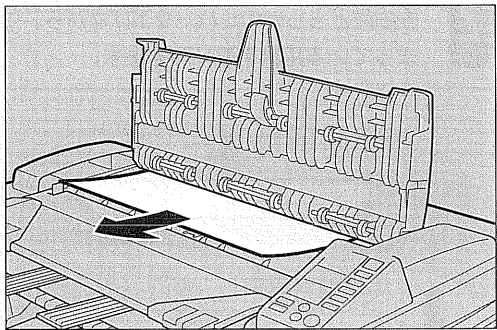
- 本体の原稿カバーに用紙が詰まったときの取り除きかたを説明したシールが張ってあります。

## 🚫 + J1 が表示されたとき

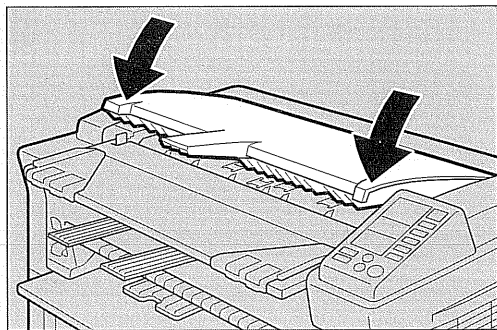
- 1 原稿カバーを開けます。



- 2 原稿を取り除きます。



- 3 原稿カバーをきちんと閉めます。



こんなときには

3

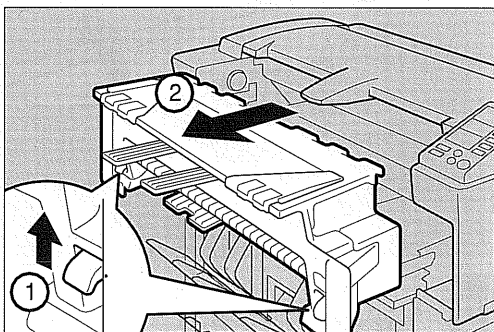
用紙や原稿が詰まったとき

## ⚠ J2 / J3 が表示されたとき

**1** 左右のレバーを上げながら (①)、定着部を開けます (②)。

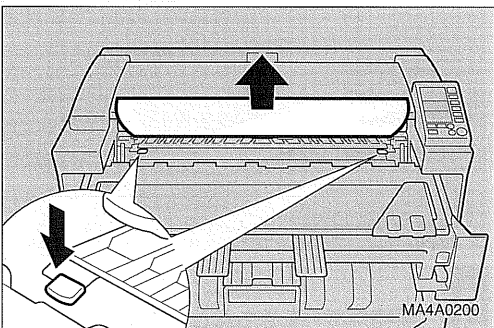
 補足

- 定着部には荷重をかけないでください。



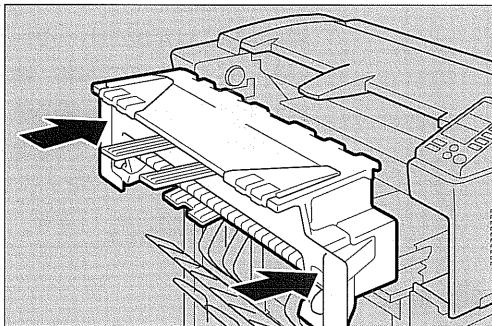
ZCNH020J

**2** 左右端どちらかのレバーを下げながら、つまっている用紙を取り除きます。



MA4A0200

**3** 定着部を両手で閉めます。

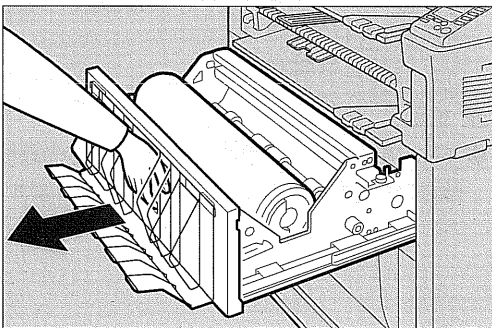


ZCNH021J

 補足

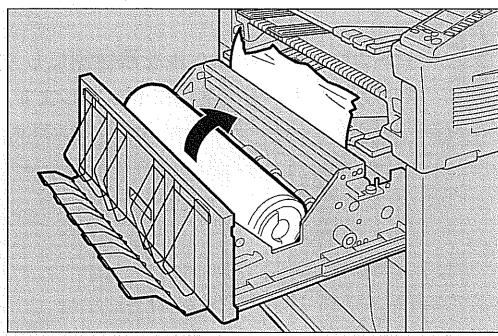
- 定着部が完全に閉まないと電源が入りません。
- 定着部は、左右の両端付近を押し、左右のロックがかかるまで確実に押し込んでください。
- 用紙を取り除けない場合は手順 3へ進みます。

**4** 使用しているロールユニット (第1または第2ロールユニット) を引き出します。

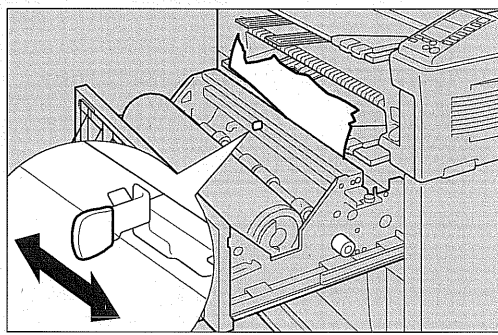


ZCNY081J

**5** 用紙がカットされずにつながっている場合は、用紙を巻き戻します。



**6** 用紙の先端が見えたら、先端を手で持ってカッターを左右にスライドさせてロール紙をカットします。



**重要**

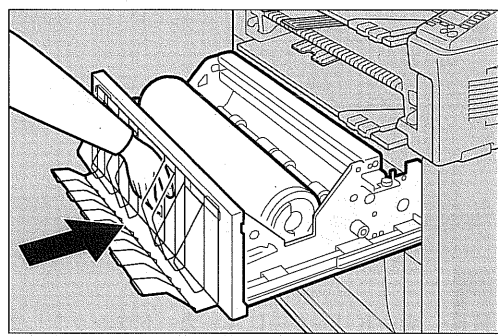
● 用紙先端をカットしたあとは、カッターを必ず左右どちらかの所定の位置に戻してください。

**補足**

- 用紙が破れたり折れたりしているときは、その部分をカッターで切り取ります。
- カッターのつまみは上から力をかけないで真横にスライドさせてください。

**7** カットされた用紙を取り除きます。

**8** 第1ロールユニットまたは第2ロールユニットを閉めます。



# キーカード／キーカウンターのセット

こんなときには

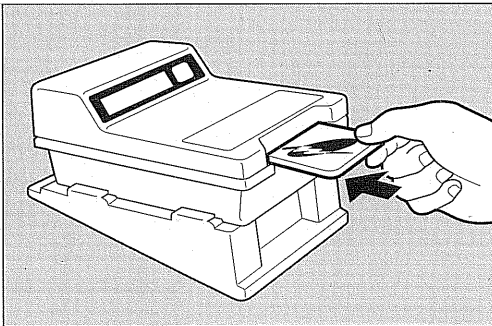
キーカード／キーカウンターのセット

## ● 補足

- キーカード／キーカウンターはオプションです。なお、取り付けユニットが別途必要となります。
- 使用の認められているキーカード、キーカウンターをセットしてください。
- カウンタは10cmごとに1カウント進みます。

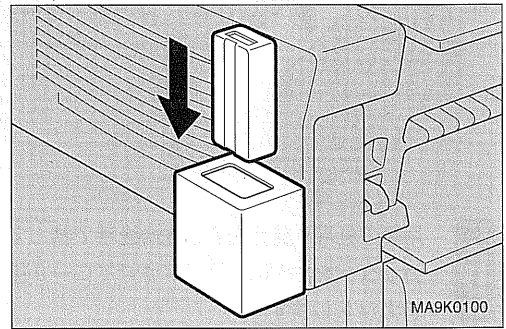
## キーカードをセットする

- 1 カードリーダーにキーカードをセットします。



## キーカウンターをセットする

- 1 キーカウンターのラベルを機械側にしてキーカウンターセット口にセットします。





## 初期設定値の変更

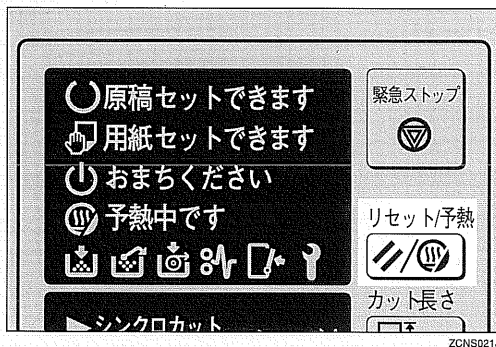
よく使用する条件に合わせて、各機能の初期設定値を変更したり、操作の条件を設定することができます。

■ 操作の前に

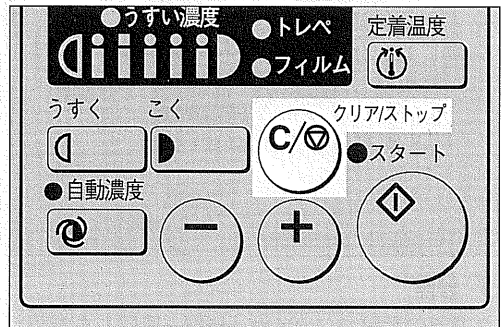
- 初期設定値の変更は、通常のコピーモードとは別のモードで操作します。操作後は、必ず元のコピーモードに戻してください。
- ここで設定/変更した内容は、再度設定し直さない限り、電源を切ったり【リセット/予熱】キーを押しても取り消されません。

**1** コピーできる状態であることを確認します。

**2** 【リセット/予熱】キーを押します。



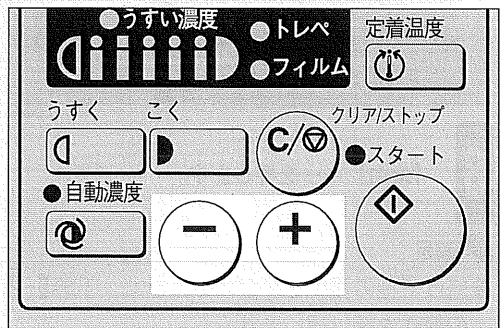
**3** 【クリア/ストップ】キーを3秒間押しします。



☞と🔥が点滅し、「先端余白」が点灯します。



**4** 【+】【-】キーを押して数値表示部に設定したい項目の番号を表示させます。



5

【余白】キーを押します。  
「後端余白」(KM-5410w は「設定選択」)  
が点灯します。



参照

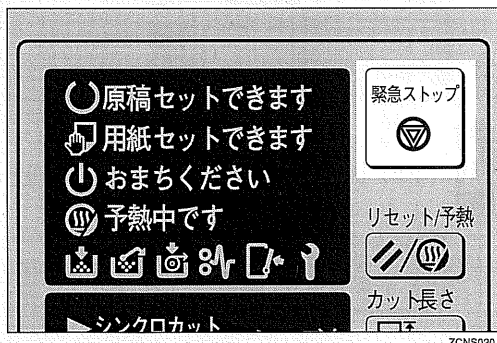
各項目の番号については「機能一覧図」を参照してください。⇒P.57

6

【+】【-】キーで設定値を変更します。  
設定方法は項目により異なります。各項目の設定方法は「初期設定機能の一覧」を参照してください。⇒P.58

7

【緊急ストップ】キーを押します。  
ブザー音が3回鳴り、設定が終了します。



8

【余白】キーを押します。

補足

● 続けて他の機能を設定するときは、手順④~⑦の操作を繰り返します。

## 初期設定の終了

1

【リセット/予熱】キーを3回押します。  
初期設定値の変更が終了してコピーできる状態に戻ります。

# 機能一覧図

## 補足

● 数値表示部には、初期設定の項目番号が表示されます。

## 参照

各機能の説明や選択肢については、「初期設定機能の一覧」を参照してください。⇒P.58

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
1 等倍調整

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
2 カット長調整

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
3 原稿スタートキー有効

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
4 オートクリア時間

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
5 自動予熱時間

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
6 オートシャットオフ時間

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
7 数字表示速度

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
8 用紙排紙時間

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
9 コピー開始時間

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
10 ブックコピー開始時間

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
12 コピーカウントモード

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
13 定寸カットモード

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
15 ブザーオフモード

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
17 数値高速表示カウント

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
19 予熱補助表示モード

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
20 バックアップディスプレイ

↑ ↓ 【+】【-】キーで切り替え

【余白】キーで選択し、【+】【-】キーで変更します
21 原稿排紙方向

# 初期設定機能の一覧

## 🔍 参照

設定したい項目を表示させる方法、および初期設定を終了させる方法については、「初期設定値の変更」を参照してください。⇒P.55

### ■機能の説明

#### 1. 等倍調整

コピー画像の縦方向の等倍度を調整できます。

#### 2. カット長調整 (KM-5420w のみ有効)

定寸カットおよびシンクロカット長さを調整できます。

#### 3. 原稿スタートキー有効

コピーを自動的に始めるか、【スタート】キーを押して始めるか設定できます。

#### 4. オートクリア時間

コピー終了後、何も操作しない場合に自動的にコピーモードがクリアされるまでの時間を設定できます。

#### 5. 自動予熱時間

コピー終了後、何も操作しない場合に自動的に予熱モードになるまでの時間を設定できます。

### ■選択肢と操作手順

-1~1% (0.1%単位 初期値:0)

#### ◆操作手順

【+】【-】キーで数値を指定します。

-20~20 (41段階 初期値:0)

#### ✎ 補足

●1段階 (1目盛) は1mmが目安です。ただし機械の条件により差異があります。

#### ◆操作手順

【+】【-】キーで数値を指定します。

[設定値]	[設定内容]
0	【スタート】キー Off (初期値)
1	【スタート】キー On

#### ◆操作手順

【+】【-】キーで設定値を指定します。

[設定値]	[設定内容]
0	2分 (初期値)
1	1分
2	3分
3	4分
4	5分
5	クリアさせない



#### ◆操作手順

【+】【-】キーで設定値を指定します。

[設定値]	[設定内容]
0	2分 (初期値)
1	1分
2	3分
3	4分
4	5分
5	10分

#### ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

<b>6. オートシャットオフ時間</b> コピー終了後、何も操作しない場合に自動的に電源をOffにするまでの時間を設定できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[設定値]</th> <th>[設定内容]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>30分 (初期値)</td></tr> <tr><td>1</td><td>5分</td></tr> <tr><td>2</td><td>15分</td></tr> <tr><td>3</td><td>45分</td></tr> <tr><td>4</td><td>60分</td></tr> <tr><td>5</td><td>90分</td></tr> <tr><td>6</td><td>120分</td></tr> <tr><td>7</td><td>180分</td></tr> <tr><td>8</td><td>240分</td></tr> </tbody> </table>	[設定値]	[設定内容]	0	30分 (初期値)	1	5分	2	15分	3	45分	4	60分	5	90分	6	120分	7	180分	8	240分
[設定値]	[設定内容]																				
0	30分 (初期値)																				
1	5分																				
2	15分																				
3	45分																				
4	60分																				
5	90分																				
6	120分																				
7	180分																				
8	240分																				
<b>7. 数字表示速度</b> <b>【+】</b> キーや <b>【-】</b> キーを押し続けたときに数値が増減する速度を設定できます。	<p>◆操作手順</p> <p><b>【+】</b> <b>【-】</b> キーを押して、設定値を指定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>[設定値]</th> <th>[設定内容]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>普通 (初期値)</td></tr> <tr><td>1</td><td>遅い</td></tr> <tr><td>2</td><td>やや遅い</td></tr> <tr><td>3</td><td>やや速い</td></tr> <tr><td>4</td><td>速い</td></tr> <tr><td>5</td><td>とても速い</td></tr> </tbody> </table>	[設定値]	[設定内容]	0	普通 (初期値)	1	遅い	2	やや遅い	3	やや速い	4	速い	5	とても速い						
[設定値]	[設定内容]																				
0	普通 (初期値)																				
1	遅い																				
2	やや遅い																				
3	やや速い																				
4	速い																				
5	とても速い																				
<b>8. 用紙排紙時間</b> 手差しコピー時に、用紙をセットしたあと原稿をセットしない場合に用紙を自動的に排出するまでの時間を設定できます。原稿は自動排出されません。	<p>◆操作手順</p> <p><b>【+】</b> <b>【-】</b> キーを押して、設定値を指定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>[設定値]</th> <th>[設定内容]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>2分 (初期値)</td></tr> <tr><td>1</td><td>1分</td></tr> <tr><td>2</td><td>3分</td></tr> <tr><td>3</td><td>4分</td></tr> <tr><td>4</td><td>5分</td></tr> </tbody> </table>	[設定値]	[設定内容]	0	2分 (初期値)	1	1分	2	3分	3	4分	4	5分								
[設定値]	[設定内容]																				
0	2分 (初期値)																				
1	1分																				
2	3分																				
3	4分																				
4	5分																				
<b>9. コピー開始時間</b> 原稿または用紙をセットしてからコピーが始まる(原稿または用紙が搬送される)までの時間を設定できます。  <b>補足</b> ●機械が停止する前に連続して原稿または用紙を挿入したときは、この設定時間は無効となります。  <b>参照</b> ブックキャリア使用時の搬送開始時間については「ブックコピー開始時間」を参照してください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[設定値]</th> <th>[設定内容]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>4秒 (初期値)</td></tr> <tr><td>1</td><td>1秒</td></tr> <tr><td>2</td><td>2秒</td></tr> <tr><td>3</td><td>3秒</td></tr> <tr><td>4</td><td>5秒</td></tr> <tr><td>5</td><td>6秒</td></tr> <tr><td>6</td><td>7秒</td></tr> </tbody> </table> <p>◆操作手順</p> <p><b>【+】</b> <b>【-】</b> キーを押して、設定値を指定します。</p>	[設定値]	[設定内容]	0	4秒 (初期値)	1	1秒	2	2秒	3	3秒	4	5秒	5	6秒	6	7秒				
[設定値]	[設定内容]																				
0	4秒 (初期値)																				
1	1秒																				
2	2秒																				
3	3秒																				
4	5秒																				
5	6秒																				
6	7秒																				

---

**10. ブックコピー開始時間**

ブックキャリアを使用するときの、原稿をセットしてからコピーが始まる（原稿が搬送される）までの時間を設定できます。

[設定値]	[設定内容]
0	4秒（初期値）
1	2秒
2	6秒
3	8秒
4	10秒

## ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

---

**12. コピーカウントモード（KM-5420wのみ有効）**

コピー中、数値表示部にコピー完了枚数（カウントアップ）を表示するか、残り枚数（カウントダウン）を表示するかを設定できます。

[設定値]	[設定内容]
0	カウントアップ（初期値）
1	カウントダウン

## ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

---

**13. 定寸カットモード（KM-5420wのみ有効）**

【カット長さ】キーを押したときのランプ点灯の順序を、昇順（カウントアップ）または降順（カウントダウン）に設定できます。

- ・ カウントダウン（降順）：【シンクロカット】 → 【841】 → 【594】 → 【420】 → 【297】 → 【シンクロカット】
- ・ カウントアップ（昇順）：【297】 → 【420】 → 【594】 → 【841】 → 【シンクロカット】

[設定値]	[設定内容]
0	カウントダウン（初期値）
1	カウントアップ

## ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

---

**15. ブザーオフモード**

キーを押したときにブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。

[設定値]	[設定内容]
0	ブザーOn（初期値）
1	ブザーOff

## ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

---

**17. 数値高速表示カウント**

【+】キーや【-】キーを押し続けると、数値が増減する速度が高速になります。このときの高速になるまでの猶予カウント数を設定できます。

[設定値]	[設定内容]
0	3カウント（初期値）
1	1カウント
2	2カウント
3	10カウント

## ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

## 19. 予熱補助表示モード

予熱モード中であることを示すための補助表示を5つのパターンから選択できます。

[設定値]	[設定内容]
0	なし (初期値)
1	パターン 1 (数値表示部に "PRE_HEAT" と表示)
2	パターン 2 (数値表示部に "Sleeping" と表示)
3	パターン 3 (濃度表示が左右に移動)
4	パターン 4 (数値表示部が ランダムに点灯)
5	パターン 5 (予熱ランプ以外の操作パ ネル上のすべてのランプ が、徐々に点灯/消灯)

### ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

## 20. バックアップディスプレイ

電源をOffにしたときの操作部の設定内容を記憶し、次回電源をOnにしたときにその設定内容を再現させるかさせないかを設定できます。

[設定値]	[設定内容]
0	なし (初期値)
1	あり

### ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

## 21. 原稿排紙方向

コピー終了後、【クリア/ストップ】キーを押したときの原稿排出方向を設定できます。

### ✎ 補足

● キャリアシートを使用する場合など、連続コピーができない原稿のときは「0 または 2: 後排出」にしてください。⇒P.15 「セットできる原稿のサイズと紙厚」

● 0: コピー後、原稿がいったん停止し、  
【クリア/ストップ】キーを押すと後方に排出されます。

1: コピー後、原稿がいったん停止し、  
【クリア/ストップ】キーを押すと前方に排出されます。

2: コピー後、原稿は停止せずに後方に排出されま  
す。

[設定値]	[設定内容]
0	後排出 (初期値)
1	前排出
2	後排出 (そのまま排出)

### ◆操作手順

【+】【-】キーを押して、設定値を指定します。

# 電源 On 時の設定を変更するとき

本機の電源を入れたとき、【リセット/予熱】キーを押したとき、オートクリア時、また予熱モード解除時に、あらかじめ設定した各機能の状態を表示します。

1

【緊急ストップ】キーを押しながら、電源スイッチを On にします。

2

各機能の設定をします。

設定できる機能は次のとおりです。設定方法については各操作の説明をご覧ください。

- ・ コピー枚数 (KM-5420w のみ) ⇒ P.25
- ・ 先端余白 ⇒ P.33
- ・ 後端余白 (KM-5420w のみ) ⇒ P.33
- ・ コピー濃度 ⇒ P.31
- ・ 定着温度 ⇒ P.32
- ・ 用紙カット長さ (KM-5420w のみ) ⇒ P.28
- ・ 用紙選択 (KM-5420w のみ) ⇒ P.26

3

電源スイッチを Off にします。

 補足

設定をやり直すときは、①～③の操作を繰り返してください。



## 使用上のお願い

### ⚠注意



・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ⚡重要

- 定着ユニットの回りはヒーター熱で熱くなっていますので、長時間触らないでください。
- 原稿テーブル表面が熱いと感じることがありますが、異常ではありません。
- 通気口などでは、排気により温かいと感じることがありますが、異常ではありません。
- 通気口前に物を置いたり、立てかけたりして通気口をふさがしないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。
- コピー中に電源を切らないでください。電源を切るときは、コピーが終了していることを確認してください。
- 温度の変化により機械内部に水滴が生じると適正なコピー画像が得られないことがあります。このような不具合を避けるため、本機には結露防止機能があります。電源スイッチをOffにすると、結露防止ヒーターがはたらき、機械本体はやや温かい状態を保っています。  
なお、本機は常に通電された状態を維持してください。
- コピー中に原稿カバーやロールユニットなどを開けないでください。コピーが停止し、用紙がつまります。
- コピー中に本機を動かしたり、傾けたりしないでください。また、振動を与えないでください。
- 本機でコピーした用紙は、他のOA機器で使用しないでください。故障の原因になります。
- 使用中は、換気をよくしてください。複写機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーをする場合には、臭気が気になることがあります。快適な作業環境を保つために部屋の換気をすることをおすすめします。

# 設置、移動、廃棄について

事業所内のレイアウト変更や移転などにより、本機の位置を移動するときは、次の説明にしたがってください。

## 重要

- 本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

## 移動について

- 移動距離の大小にかかわらず、機械を移動するときはサービス担当者またはサービス実施店に連絡してください。

## 設置条件

### ⚠注意



- ・ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

### ⚠注意



- ・ 機械を移動したらキャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。
- ・ 専用デスク（オプション）を接続している場合は、本体上部を無理に押さないでください。本体と専用デスクがはずれて、けがの原因になります。

次のような場所への設置は避けてください。不適切な場所に設置すると正常にコピーができなくなったり、故障の原因になったりすることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所  
ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
  - ・ 温度：10～30℃
  - ・ 湿度：15～90%
- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具、冷房器具、加湿器に近い場所
- 振動の激しい場所
- 換気の悪い場所

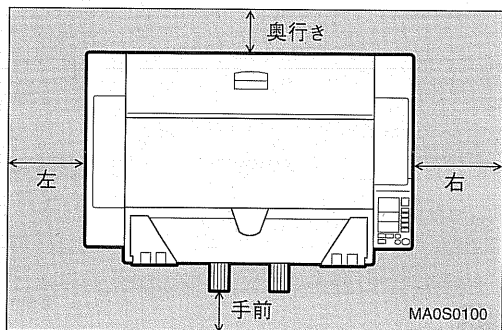
- 石油ストーブや、アンモニアを発生させる機器、シアソコピー機などの近く
- ほこりの多い場所
- 床や台が不安定な場所
  - ・ 水平な場所に設置してください。高さの差が前後は 10mm 以下、左右は 5mm 以下になるようにしてください。
  - ・ しっかりした床の上に設置してください。台の上に設置するときは、専用のデスクまたは機械の大きさよりも面積の広いしっかりしたテーブルを選んでください。
- 排紙トレイ取り付け時は、前面に面のあるテーブルを使用してください。

◆超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器に水道水や井戸水をご使用になると、水の中の不純物が白い粉となり、複写機の内部に付着してコピーや印刷紙の汚れの原因になります。特に長時間連続して加湿器をお使いになる場合は、加湿器用純水器のご使用をおすすめします。

## 設置に必要なスペース

本機の周囲には十分なスペースを設けてください。コピーの操作時やサービス担当者の作業時などに必要です。オプションを装着したときのスペースについてはサービス担当者におたずねください。



	標準のとき	厚紙、ブックキャリア
手前	100cm	100cm
奥行き	60cm	120cm
左	60cm	60cm
右	60cm	60cm

補足

- 厚紙またはブックキャリア（オプション）を使用するときは、後方でブック原稿を受けられるスペースを確保してください。
- 厚紙で A1 よりも長い原稿をコピーするときは、原稿の長さより 60cm 広いスペースを確保してください。

# 清掃のしかた

露光ガラスや原稿反射板、搬送コ口が汚れていると、きれいにコピーできません。汚れたら清掃してください。

## ◆お手入れの方法

やわらかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れがとれないときは、水で濡らして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使って拭きます。

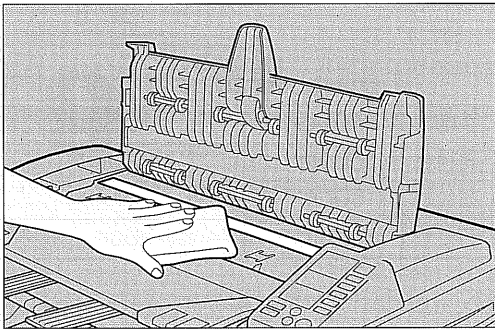
水拭き後、乾拭きをして水気を十分に取ります。

## ❗重要

- クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。すきまからしみこんだり、本体のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。
- 機械内部の清掃はサービス担当者におまかせください。

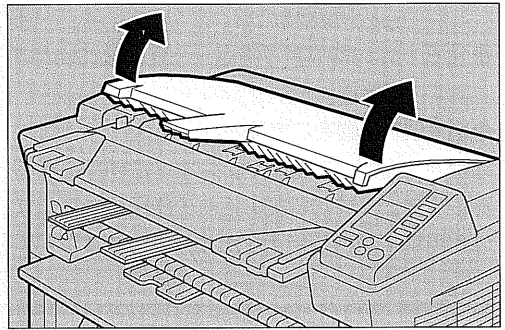
## 露光ガラスの清掃

原稿カバーを開け、露光ガラスを拭きます。

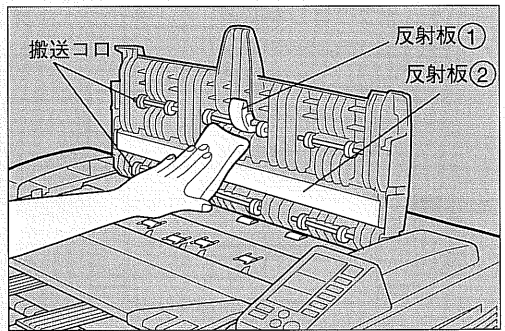


## 原稿反射板、搬送コ口の清掃

**1** 原稿カバーを開けます。

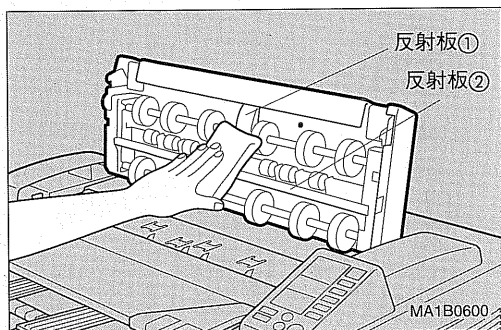


**2** 原稿反射板と搬送コ口を拭きます。



**3** 原稿カバーを閉めます。

## ブックキャリアの清掃



反射板①と②を拭きます。



## 仕様

	■ KM-5420w	■ KM-5410w
● 形式	・ デスクトップ	
● 感光体種類	・ OPC	
● 複写方式	・ 乾式静電複写方式	
● 現像方式	・ 乾式二成分現像	
● 定着方式	・ ヒートロール方式	
● 原稿台方式	・ 原稿移動方式	
● 複写原稿	・ シート ・ ブック (オプション)	
● 原稿サイズ (幅×長さ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大: 610 × 2000mm</li> <li>・ 最小: 210 × 297mm</li> <li>・ 定形サイズ: A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> A3 <input type="checkbox"/> A4 <input type="checkbox"/></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大: 610 × 841mm</li> <li>・ 最小: 210 × 297mm</li> <li>・ 定形サイズ: A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> A3 <input type="checkbox"/> A4 <input type="checkbox"/></li> </ul>
● 複写サイズ (幅×長さ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大: 610 × 2000mm</li> <li>・ 最小: 210 × 297mm</li> <li>・ 定形サイズ: A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> A3 <input type="checkbox"/> A4 <input type="checkbox"/></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大: 610 × 841mm</li> <li>・ 最小: 210 × 297mm</li> <li>・ 定形サイズ: A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> A3 <input type="checkbox"/> A4 <input type="checkbox"/></li> </ul>
● ウォームアップタイム	・ 2分以下 (室温 23°C)	
● ファーストコピータイム	・ 15秒以下 (A1 <input type="checkbox"/> 手差し時)	
● 複写速度	・ 5.4m / 分	
● 複写倍率	・ 1:1 ± 0.5%	
● 画像欠け幅	・ 左右 0~2mm、先端 0~5mm、後端 0~10mm	
● 給紙方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手差し</li> <li>・ ロールユニット (オプション) 1段ロール、2段ロール</li> </ul>	・ 手差し
● 連続複写	・ 1~10枚	・ 1枚
● 使用電源	・ 100V 15A 50 / 60Hz	
● 最大消費電力	・ 1.45kW	
● 大きさ (幅×奥行き×高さ)	・ 899 × 570 × 335mm	
● 機械占有寸法 (幅×奥行き)	・ 899 × 680mm (専用テーブル、排紙トレイ装着時)	
● 質量 (ドラム、現像剤含む)	・ 約62kg	

## 電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。

その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・ コンセントを別にする
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 高調波ガイドライン適合品

家庭・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠

## おもな付属品

品名	KM-5410w	KM-5420w
使用説明書（本書）	1	1
使用説明書入れ	1	1
ユーザ登録書	1	1
コピートレイ	1	1
コピートレイ取り付けブラケット	2	2
用紙ガイド	1	1
用紙サイドガイド（本体装着）	2	1
原稿サイドガイド（本体装着）	2	2
名刺ケース	2	2
セットアップ手順書	1	1
台紙：名刺ケース	2	2
工具：単一リセットカウンター	1	1
CKN：クランプ	2	2
トラス小ネジ：M4×6	2	2
段ビス：ランプブラケット	2	2



# オプションについて

## ◆京セラミタロールユニット RU-32A/32B

●ロール紙容量	・ RU-32A：1本 ・ RU-32B：2本
●ロール紙サイズ	・ 幅：210～594mm ・ 長さ：150m（ロール径 180mm 以内）
●使用電源	・ 本体より供給
●最大消費電力（本体を含む）	・ 70W 以下
●大きさ（幅×奥行き×高さ）	・ 898 × 708 × 770mm
●質量	・ 410A：約48kg ・ 410B：約70kg

## ◆京セラミタブックキャリア タイプA

●原稿の種類	・ 背張り製本した原稿 ・ 紙種：ジアソ普通紙コピー、普通紙コピーおよび同等品
●原稿サイズ	・ 幅：210～594mm ・ 長さ：297～841mm
●原稿厚さ	・ 1～15mm（見開き） 本厚さ2～30mm
●倍率	・ 1：1 ・ 倍率誤差：±1.5%*（但し、A3原稿を除く。部分的には4.5%の誤差がでる場合があります。）
●大きさ（幅×奥行き×高さ）	・ 675 × 252 × 92mm
●質量	・ 約5kg

\* 倍率は原稿の厚さ、重さ、サイズおよび挿入／取り出し方法によっては上記数値をはずれる場合があります。

## ◆キーカウンター

コピーの使用量を計るカウンターです。各部署に1個ずつ備えておき、部署ごとの使用量が管理できます。取り付けの際には別途取り付け金具（キーカウンター取付金具タイプ2）が必要です。

## ◆キーカード MK-1

部署ごとのコピー使用量を記憶し、表示、集計するコピー量管理装置です。パソコンとのシステム化により枚数集計管理ができます。一定期間ごとのコピー量の集計やコピー使用量を簡単に確認できます。取り付けの際には別途取り付け金具（MK-1取付金具タイプC）が必要です。

◆京セラミタキャリアシート A1、A2

そり、破れ、折れ目などのある原稿や、薄い原稿、貼り込のある原稿でも、キャリアシートにセットすれば、コピーすることができます。(連続コピーはできません)

◆専用テーブル PT-24

# 索引

## 記号

[+] [-] キー ..... 9、10

## あ行

アース ..... 2  
【うすく】【こく】キー ..... 9、10、31  
エネルギースター ..... 5  
オートオフ機能 ..... 5  
オートクリア時間 ..... 57、58  
オートシャットオフ時間 ..... 57、59  
オプション ..... 71

## か行

カッター ..... 48、53  
カット長調整 ..... 57、58  
【カット長さ】キー ..... 9、28  
紙づまり ..... 51  
キーカード ..... 12、13、54、71  
キーカウンター ..... 12、13、54、71  
キーカウンターセット口 ..... 12、13  
機能一覧図 ..... 57  
キャリアシート ..... 12、13、30、71  
【緊急ストップ】キー ..... 9、10  
【クリア/ストップ】キー ..... 9、10  
原稿紙厚 ..... 15  
原稿サイズ ..... 15  
原稿（使用不可） ..... 15  
原稿テーブル ..... 11  
原稿排紙方向 ..... 57、61  
原稿反射板 ..... 66  
後端余白 ..... 33  
コピー開始時間 ..... 57、59  
コピーカウントモード ..... 57、60  
コピートレイ ..... 11  
コピー濃度調整 ..... 31

## さ行

消耗品 ..... 74  
初期値設定 ..... 55  
仕様 ..... 69  
シンクロカット ..... 28  
自動濃度 ..... 31  
自動予熱時間 ..... 57、58  
除湿ヒーター ..... 21  
数字表示速度 ..... 57、59  
数値高速表示カウント ..... 57、60  
数値表示部 ..... 9、10  
清掃 ..... 66  
設置スペース ..... 65  
先端余白 ..... 33  
専用テーブル ..... 12、13、76  
操作部 ..... 9、10、11

## た行

通気口 ..... 11  
定寸カット ..... 28、57、60  
定着部 ..... 52  
手差しコピー ..... 23、26  
【定着温度】キー ..... 9、10、32  
電源 ON 時の設定 ..... 62  
電源スイッチ ..... 11  
等倍調整 ..... 57、58  
トナーカートリッジ ..... 49  
トナーカバー ..... 49  
トナー補給 ..... 22、49  
トレーシングペーパー（第二原図用紙） ..... 19

## は行

バックアップディスプレイ ..... 57、61  
フィルム ..... 19  
付属品 ..... 70  
縁取り紙 ..... 19  
普通紙 ..... 19  
ブザーオフモード ..... 57、60  
ブックキャリア ..... 12、13、36、67、71  
ブックコピー開始時間 ..... 57、60  
ペーパーホルダ ..... 46

## や行

用紙 ..... 18  
用紙サイドガイド ..... 24、26  
【用紙】キー ..... 9、26  
用紙サイズ ..... 18  
用紙（使用不可） ..... 20  
用紙テーブル ..... 11  
用紙排紙時間 ..... 57、59  
用紙保管 ..... 20  
用紙補給 ..... 21、46  
用紙ストック ..... 19  
予熱 ..... 35  
予熱補助表示モード ..... 57、61  
【余白】キー ..... 9、10、33  
読み取り範囲 ..... 17

## ら行

【リセット/予熱】キー ..... 9、10  
ロール紙 ..... 19  
ロールフィーダ ..... 11、12、27、71  
露光ガラス ..... 66

# 消耗品

※機械の性能を維持しトラブルを未然に防止するために、消耗品は必ず弊社のものをご使用ください。

## 用紙

### ・ カット紙

〈普通紙 (DC 共用 64g/m <sup>2</sup> )〉	〈第2原図 (DC 用 GTN-75 75g/m <sup>2</sup> )〉	〈DC フィルム EK-300〉
A1判 100枚×3冊	A1判 100枚×1冊	A1判 100枚×1冊
A2判 100枚×5冊	A2判 100枚×1冊	A2判 100枚×1冊
A3判 500枚×3冊	A3判 250枚×1冊	
A4判 500枚×5冊	A4判 500枚×1冊	

### ・ ロール紙

〈普通紙 (DC 共用 64g/m <sup>2</sup> )〉	〈第2原図 (DC 共用 64g/m <sup>2</sup> )〉	〈DC フィルムロール〉
594mm × 150m	594mm × 150m	594mm × 100m
420mm × 150m	420mm × 150m	420mm × 150m

# 製品の保守サービスについて

このたびは、弊社複写機をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式には次のものが  
ございます。

## ●コピーキット方式

弊社指定のコピーキットをご購入いただきますと「コピーシステム契約書」にもとづき、複写機の点検・  
調整・修理および感光体の提供・交換を行います。

・コピーキット (PK-450 キット) 800 カウント用

## ●スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様の要請のつと料金を申し受ける方式です。

# 保守サービス契約書について

保守サービスとしてコピーキット契約を結ばれたお客様は「コピーシステム契約書」を、ご購入の際お  
買い上げ販売店もしくは弊社営業所が必要事項を記入し、お渡しいたします。

「コピーシステム契約書」には、お買い上げになった複写機の保守サービスの内容などが記載されてお  
りますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし「コピーシステム契約書」の発行がな  
されてない場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社営業所へご連絡ください。ただちに発行手続きをいた  
します。

※アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店もしくは、最寄りの弊社営  
業所へお問い合わせください。

# 補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。弊社の保守サービス  
のために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**QUALITY  
CERTIFICATE**

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

# 京セラ ミタ株式会社

<お客様相談窓口> (06) 6764-3678


受付時間：9:00~12:00 13:00~17:00 (但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)


京セラミタ本社：〒540-8685 大阪市中央区玉造1丁目2番28号

京セラミタジャパン株式会社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 03-3279-2112

営業所名	〒	住所	電話番号	営業所名	〒	住所	電話番号
北海道営業本部	003-0012	札幌市白石区中央2条6丁目9-22 (オガワビル)	011-862-4495	中部営業本部	450-0003	名古屋市中村区名駅南3-6-18 (第5ワカサビル)	052-551-1280
札幌プランチ	003-0012	札幌市白石区中央2条6丁目9-22 (オガワビル)	011-862-2631	名古屋プランチ	450-0003	名古屋市中村区名駅南3-6-18 (第5ワカサビル)	052-582-7411
札幌特販プランチ	003-0012	札幌市白石区中央2条6丁目9-22 (オガワビル)	011-862-2631	岐阜プランチ	500-8262	岐阜市西郡本郷1-7	058-271-9423
旭川プランチ	078-8349	旭川市東光9条2丁目4番11号	0166-34-0711	名古屋北プランチ	482-0041	岩倉市東町長山102番地	0587-37-5166
釧路プランチ	085-0007	釧路市埴川町1-2-4	0154-25-8666	北陸プランチ	921-8802	石川県石川郡野々町町野4-38 (中飯ビル1F)	076-248-5626
函館プランチ	040-0001	函館市五稜郭町28-4	0138-52-2622	岡崎プランチ	444-0840	岡崎市戸崎町1丁目31-3	0564-54-8181
東北営業本部	983-0035	仙台市宮城野区日の出町2-2-41	022-232-3223	富山プランチ	939-8087	富山市大泉町2-4-16	0764-24-3531
仙台プランチ	983-0035	仙台市宮城野区日の出町2-2-41	022-232-3225	静岡プランチ	422-8003	静岡市池田2-4-1	054-263-1456
山形プランチ	990-0832	山形市城町5-2-9-19	023-645-3551	浜松プランチ	430-0805	浜松市穂松町258-4	053-463-1209
盛岡プランチ	022-0866	盛岡市本宮字小幡16-14	019-635-2354	三重プランチ	514-0103	津市栗真中山町字沢4-1	059-231-1159
秋田プランチ	010-0946	秋田市川尻総社町7-1	018-863-2422	長野プランチ	380-0915	長野市稲葉上字田中12-2	026-226-8145
郡山プランチ	963-8851	郡山市開成4-28-7	024-932-4414	松本プランチ	399-0005	松本市野溝木中1-6-58	0263-26-4679
青森プランチ	030-0843	青森市大宮浜田字玉川355番地	017-739-8951	中部MA営業本部	450-0003	名古屋市中村区名駅南3-6-18 (第5ワカサビル)	052-582-7411
北関東営業本部	330-0033	大宮市本郷町780-1	048-652-4361	第1プランチ	450-0003	名古屋市中村区名駅南3-6-18 (第5ワカサビル)	052-582-7418
大宮プランチ	330-0033	大宮市本郷町780-1	048-668-4515	第2プランチ	450-0003	名古屋市中村区名駅南3-6-18 (第5ワカサビル)	052-582-7418
新潟プランチ	950-0862	新潟市竹尾卸新町811-6	025-272-1133	関西営業本部	543-0014	大阪市天王寺区玉造元町3-9	06-6764-3207
宇都宮プランチ	321-0933	宇都宮市築瀬町769-1	028-636-5077	大阪プランチ	543-0014	大阪市天王寺区玉造元町3-9	06-6764-3210
熊谷プランチ	360-0024	熊谷市岡屋町2-2-15 (鈴木ビル1F)	048-525-3242	京阪プランチ	572-0846	大阪市高宮栄町11番6-9	072-880-2201
前橋プランチ	371-0013	前橋市西片町5-18-20	027-221-1547	阪和プランチ	591-8032	堺市百舌鳥梅町3-43-3	0722-53-7077
川口プランチ	333-0811	川口市戸塚2-18-4 (厚川ビル1F)	048-297-0946	京都プランチ	605-0846	京都市東山区五条橋東2-32-1	075-525-2131
所沢プランチ	350-1304	狭山市狭山台4丁目10-2	042-956-2022	奈良プランチ	630-8452	奈良市北之庄西町1-4-13	0742-63-3202
東関東営業本部	260-0001	千葉市中央区都町1-5-5-1	043-233-3550	大阪南プランチ	547-0016	大阪市平野区長吉長原4丁目16番1号	06-6769-7201
千葉プランチ	260-0001	千葉市中央区都町1-5-5-1	043-233-3550	北大阪プランチ	564-0063	吹田市江坂町3-4-4-1	06-6337-2485
水戸プランチ	311-4151	水戸市旭子1-6-7-1	029-254-7677	和歌山プランチ	640-8341	和歌山市黒田355-2	0734-73-5136
土浦プランチ	300-0849	土浦市西根西1-13-7	0298-42-4151	滋賀プランチ	523-0032	近江八幡市白鳥町36-1	0748-32-1530
市川プランチ	272-0004	市川市原木1-9-9-3	0473-28-3711	兵庫営業本部	652-0895	神戸市兵庫区小河通2-2-8 (赤浦合名ビル3F)	078-651-9010
東京第1営業本部	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2050	神戸プランチ	652-0895	神戸市兵庫区小河通5-2-8 (赤浦合名ビル2F)	078-651-7500
城東プランチ	136-0071	東京都江東区亀戸2-18-1	03-3636-3671	姫路プランチ	670-0952	姫路市南条宇前田5111-532	0792-81-0250
城北プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2050	尼崎プランチ	661-0012	尼崎市南塚口町5丁目17-7	06-6427-3176
東京第2営業本部	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2051	四国営業本部	760-0078	高松市今里町1-28-18	087-837-5312
東京第3営業本部	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2051	高松プランチ	760-0078	高松市今里町1-28-18	087-861-3861
城西プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2051	松山プランチ	790-0056	松山市土居田町67-2	089-946-3411
東京第3営業本部	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2053	徳島プランチ	770-0941	徳島市万代町5-7-3	088-626-1761
城南プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2053	関西MA営業本部	543-0014	大阪市天王寺区玉造元町3-9	06-6764-3207
東京第4営業本部	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2053	第1プランチ	543-0014	大阪市天王寺区玉造元町3-9	06-6764-3210
杉並プランチ	167-0041	東京都杉並区善福寺1-3-3 (ラルC108)	03-3394-4640	第2プランチ	543-0014	大阪市天王寺区玉造元町3-9	06-6764-3215
西東京プランチ	190-0022	立川市錦町6-19-12 (戸所ビル)	042-527-0651	中国営業本部	733-0032	広島市西区東観音町2-5	082-295-2626
神奈川営業本部	222-0036	横浜市港北区小机町1521-5	045-471-0232	広島プランチ	733-0032	広島市西区東観音町2-5	082-295-2001
横浜プランチ	222-0036	横浜市港北区小机町1521-5	045-471-0231	広島特販プランチ	733-0032	広島市西区東観音町2-5	082-295-2001
横浜特販プランチ	222-0036	横浜市港北区小机町1521-5	045-471-0231	山口プランチ	754-0021	山口県岩国郡小郡町黄金町13-36	0839-73-0332
厚木プランチ	243-0814	厚木市妻田南1-16-32	0462-23-1691	岡山プランチ	700-0975	岡山市今8-14-25	086-241-8481
川崎プランチ	211-0025	川崎市中原区木月536-5 (誠和電通工業ビル1F)	044-411-3332	福山プランチ	721-0974	福山市泉深津町1-10-18	0849-21-5075
山梨プランチ	400-0043	甲府市国府4-15-15	055-224-2181	徳山プランチ	745-0066	徳山市岡田町10-3-7	0834-21-3006
沼津プランチ	410-0000	沼津市寿町1-0-15	0559-25-6066	松江プランチ	680-0049	松江市袖師町7-2-2	0852-22-0630
東京MA営業本部	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2057	三次プランチ	728-0006	三次市島敷町1506-3	0824-63-3454
第1プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2057	九州営業本部	812-0016	福岡市博多区博多駅南6-2-2	092-471-8651
第2プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2122	福岡プランチ	812-0016	福岡市博多区博多駅南6-2-2	092-441-2721
第3プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2057	鹿児島プランチ	890-0063	鹿児島市鶴池1-12-14	099-255-9001
第4プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2057	北九州プランチ	802-0045	北九州市小倉北区神岳2-6-26 (第1共立ビル)	093-551-4065
第5プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2057	大分プランチ	870-0906	大分市大州浜1丁目8番19号	097-558-2747
第6プランチ	103-0023	東京都中央区日本橋本町1-9-15	03-3279-2057	久留米プランチ	830-0018	久留米市通町7-2-45	0942-35-3633
				熊本プランチ	862-0968	熊本市馬場2-16-8	096-370-3900
				長崎プランチ	852-8131	長崎市文政町7-22 (東文教ハイテック1F)	095-843-6248
				宮崎プランチ	880-0024	宮崎市祇園3-176-1	0985-29-7511
				沖縄プランチ	902-0073	那覇市上間356-1	098-834-5192

© 2000 KYOCERA MITA CORPORATION

 は京セラ株式会社の登録商標です。

 は京セラミタ株式会社の登録商標です。

2000. 8  
SD880010A